

## 参考資料 2

第 2 回はり師・きゅう師国家試験試行試験実施報告書

平成 31 年 3 月 5 日

## 第 2 回はり師きゅう師国家試験試行試験実施報告書

あん摩マッサージ指圧師

はり師きゅう師

国家試験 試行試験事務局

## 1 実施方法

## (1) 問題構成

前半 (90 問) 4 肢択一・5 肢択一混成、専門基礎分野 88 問・専門分野 2 問

後半 (85 問) 4 肢択一のみ、専門分野 85 問

## (2) 試験時間

視覚障がい者：前半・後半ともに 3 時間 15 分、3 時間 15 分 (合計 6 時間 30 分)

晴眼者：前半・後半ともに 2 時間 10 分 (合計 4 時間 20 分)

## (3) 実施期間：平成 30 年 12 月 17 日 (月)～平成 31 年 1 月 14 日 (祝・月)

## 2 実施人数と内訳

【全受験者】566 人 (67 校)

【視覚障がい者】136 人 (45 校)

大学 1 校

特別支援学校 41 校

国立障害者リハビリテーションセンター 3 校

【晴眼者】430 人 (22 校)

大学 7 校

専門学校 15 校

## 3 全体の正答数・正答率と合格状況

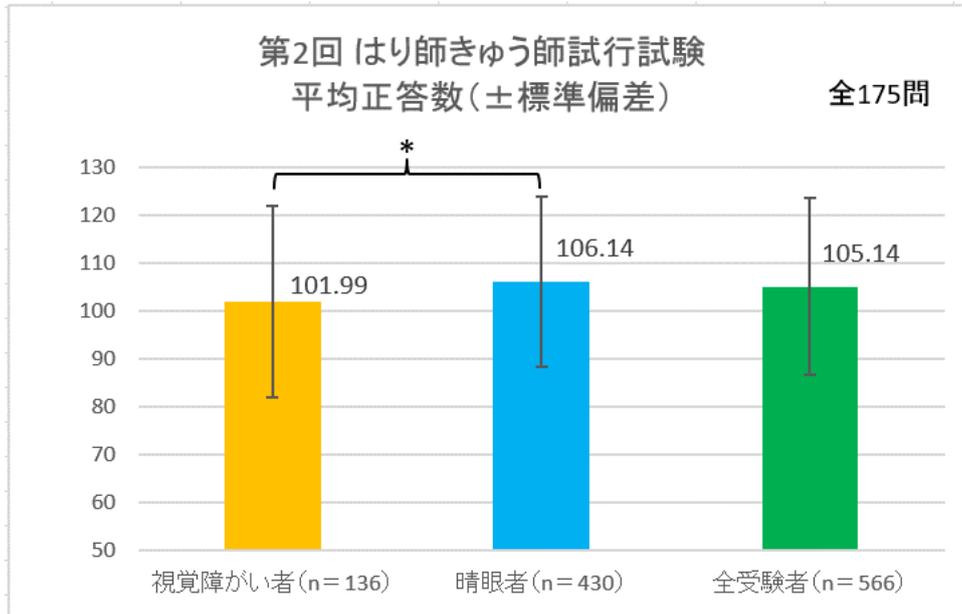
	平均正答数(±標準偏差) 【点】	平均正答率(±標準偏差) 【%】	60%以上を合格とした場合の 合格者数(合格率)
<b>視覚障がい者</b> (n=136)	101.10(±19.96)	58.28(±11.41)	はり師 60 人(44.12%) きゅう師 63 人(46.32%)
<b>晴眼者</b> (n=430)	106.14(±17.88)	60.65(±10.22)	はり師 216 人(50.23%) きゅう師 230 人(53.49%)
<b>全受験者</b> (n=566)	105.15(±18.47)	60.01(±10.55)	はり師 276 人(48.76%) きゅう師 293 人(51.77%)

表 1 平均正答数 (点/問)・正答率、および 60%を合格ラインとした場合の合格者数と合格率

●全 175 問における視覚障害者 (136 人) と晴眼者 (430 人) の比較において、晴眼者の正答率の方が視覚障がい者の正答率よりも有意に高かった。(60.65±10.22 vs 58.28±11.41, P<0.05, マン=ホイットニーの U 検定.

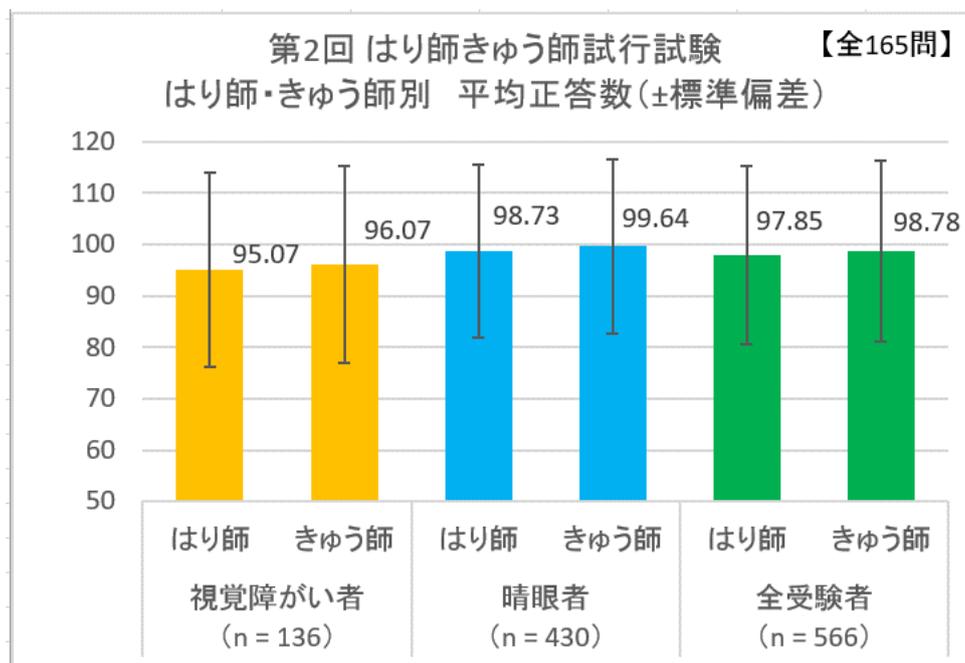
BellCurve for Excel (version 3.00) Social Survey Research Information Co., Ltd.) 【グラフ 1-1】

- また、4 択専門分野（87 問）において、視覚障がい者の正答率よりも晴眼者の正答率の方が有意に高かった。  
 （58.72±12.61% vs 63.67±11.26%,  $P < 0.01$ , クラスカル=ウォリス検定と Scheffe の多重比較）【グラフ不載】
- 視覚障がい者、晴眼者における正答数の度数分布図を【図 1-1, 1-2, 1-3】に示す。



\* :  $P < 0.05$ , マン=ホイットニーのU検定

グラフ 1-1 第2回はり師きゆう師国家試験試行試験 平均正答率



グラフ 1-2 第2回はり師きゆう師国家試験試行試験 平均正答率

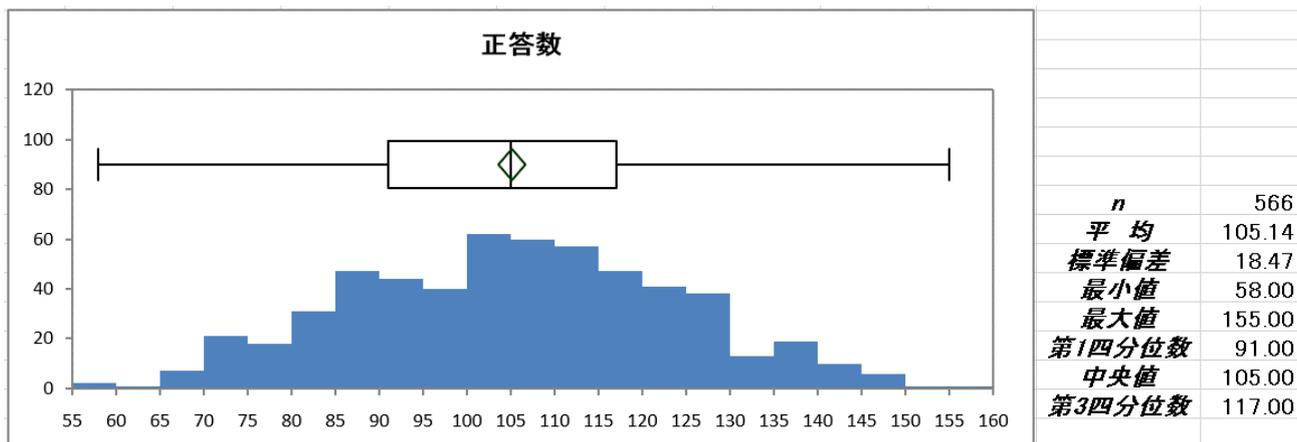


図 1-1 正答率の度数分布 (全受験者)

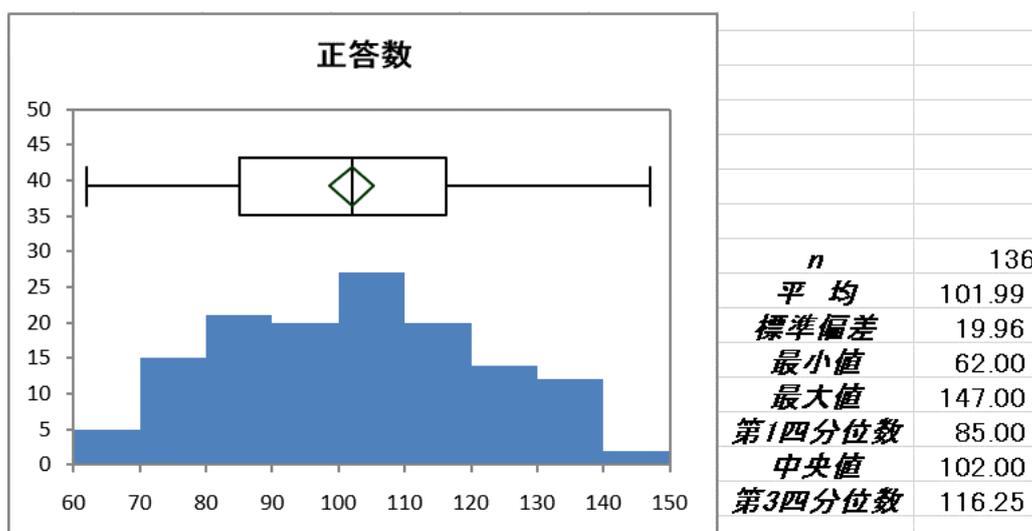


図 1-2 正答率の度数分布 (視覚障がい者)

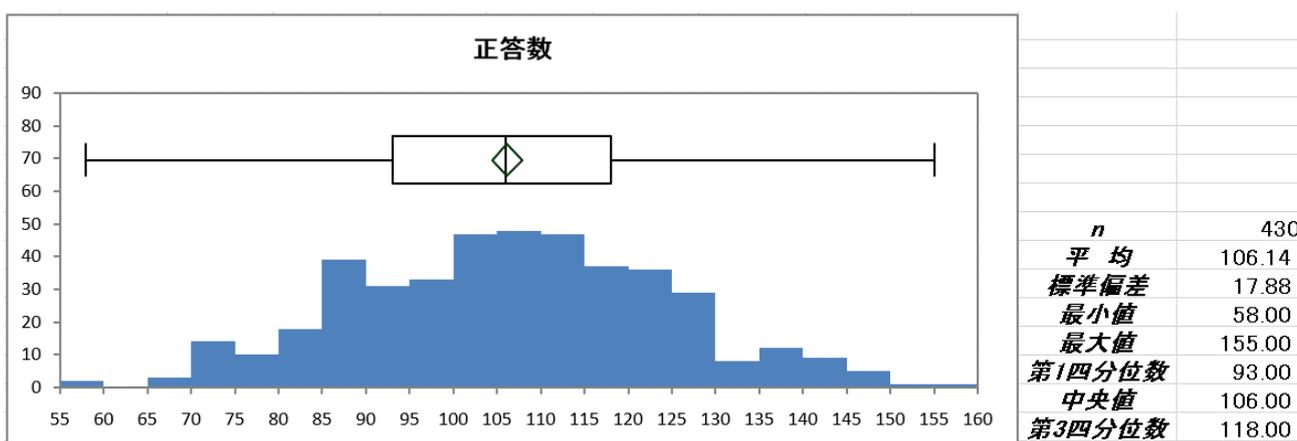


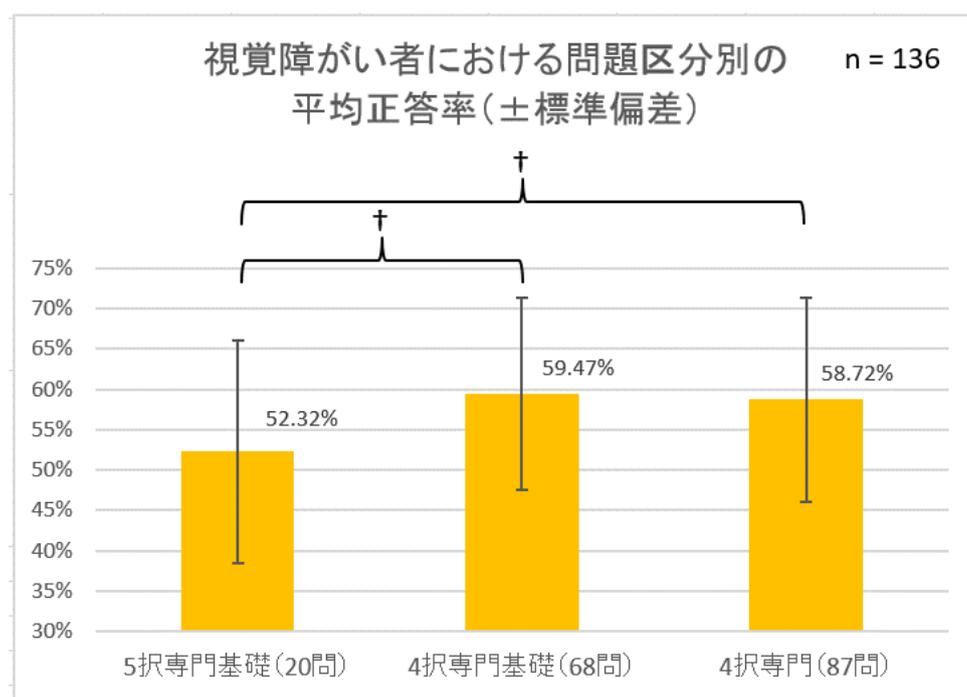
図 1-3 正答率の度数分布 (晴眼者)

4 分野別平均正答率（±標準偏差）

	専門基礎分野【五択】 (20問)	専門基礎分野【四択】 (68問)	専門分野【四択】 (87問)
視覚障がい者(n=136)	52.32(13.80)%	59.29(12.11)%	58.72(10.26)%
晴眼者(n=430)	51.11(12.99)%	59.55(11.09)%	60.07(10.22)%
全受験者(n=566)	51.40(13.18)%	59.49(11.33)%	60.08(10.55)%

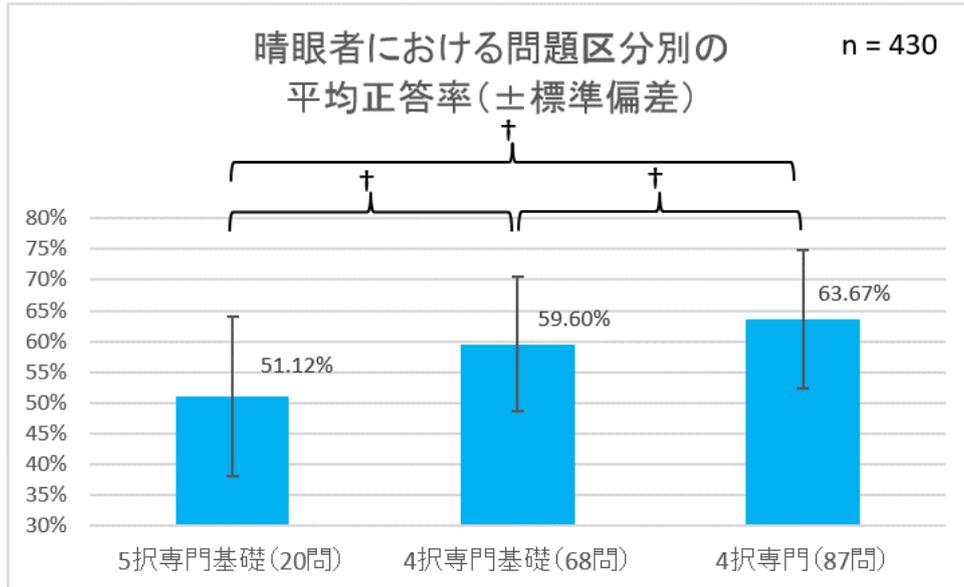
表2 専門基礎分野 88 問における 5 肢択一問題と 4 肢択一問題、および専門分野 87 問の平均正答率

- 専門基礎分野（88 問）における 5 択専門基礎分野（20 問）と 4 択専門基礎分野（68 問）、および専門分野（87 問）の 3 群間比較において、視覚障がい者・晴眼者いずれも 5 択（20 問）の正答率の方が 4 択（68 問）の正答率よりも有意に低かった。（ $P < 0.001$ , フリードマン検定）【グラフ 2-1, 2-2】
- 視覚障がい者・晴眼者のいずれも、5 択専門基礎分野（20 問）の正答率の方が 4 択専門分野（87 問）の正答率よりも有意に低かった。（ $P < 0.001$ , フリードマン検定）【グラフ 2-1, 2-2】
- 晴眼者において、4 択専門基礎分野（68 問）の正答率の方が 4 択専門分野（87 問）の正答率よりも有意に低かった。（ $P < 0.001$ , フリードマン検定）【グラフ 2-2】



† :  $P < 0.001$ , フリードマン検定とScheffeの多重比較

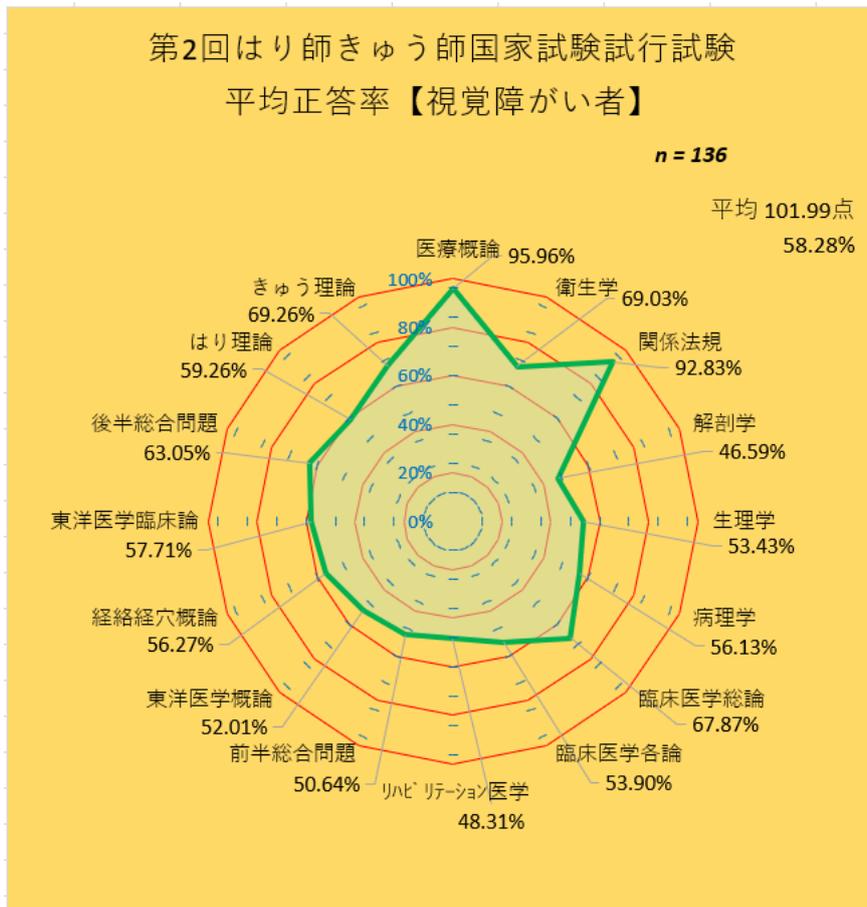
グラフ 2-1 分野・問題形式別平均正答率（視覚障がい者）



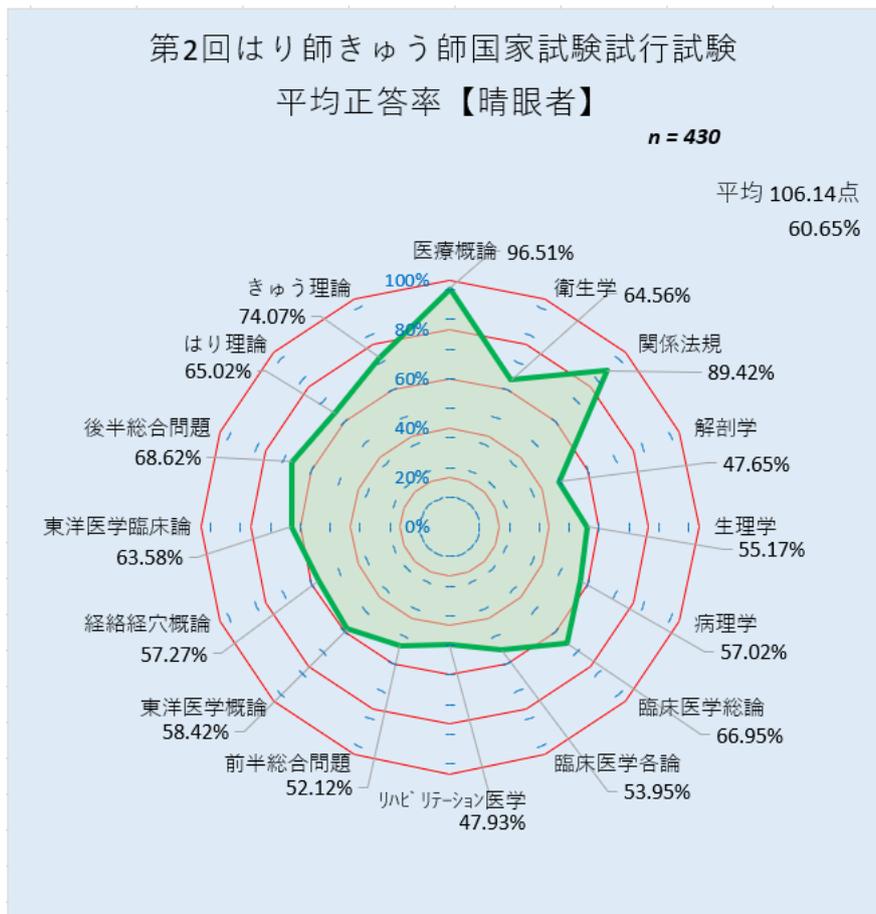
† : P < 0.001, フリードマン検定とScheffeの多重比較

グラフ 2-2 分野・問題形式別平均正答率 (晴眼者)

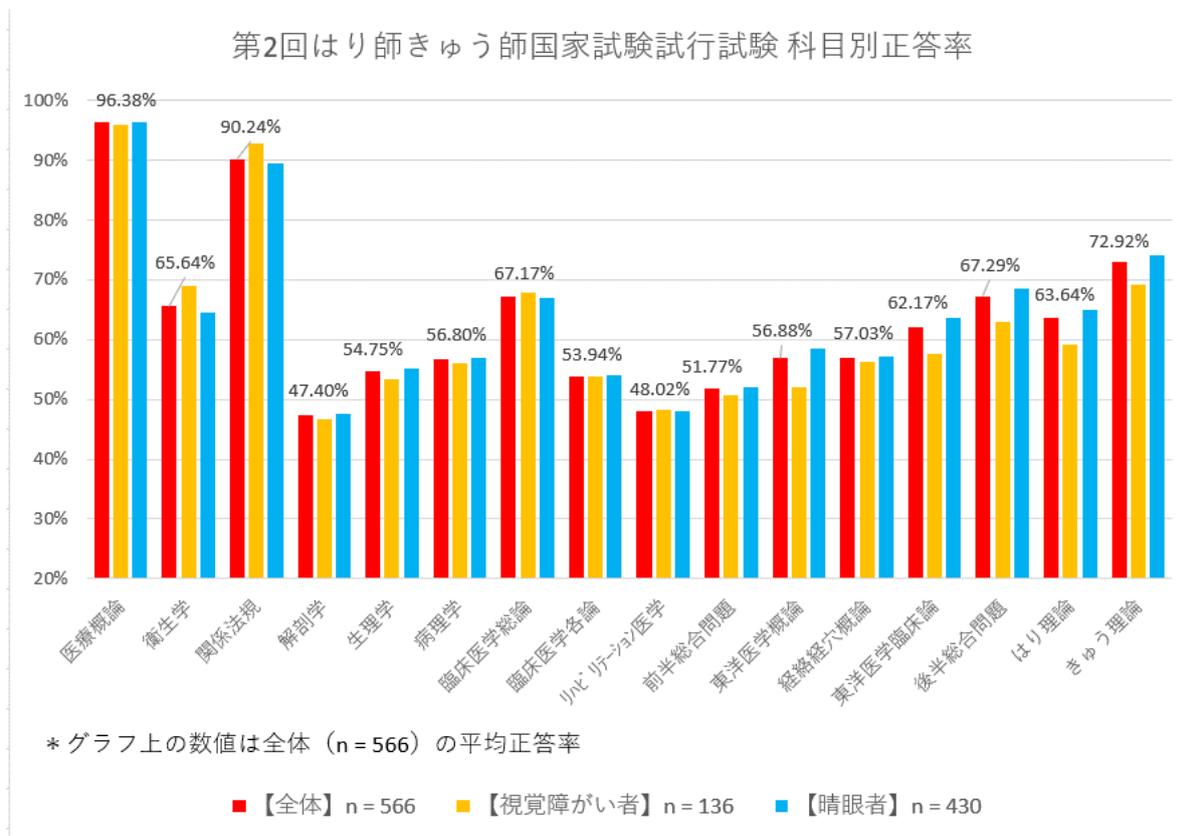
5 科目ごとの正答率分析



グラフ 3-1 視覚障がい者 (n = 136) における科目ごとの平均正答率



グラフ 3-2 晴眼者 (n = 430) における科目ごとの平均正答率



グラフ 3-3 視覚障がい者・晴眼者および全体の科目ごとの平均正答率比較 (※全体の平均正答率のみ表示)

## 6 問題ごとの正答率、識別指数

- 問題ごとの正答率について、視覚障がい者の正答率と晴眼者の正答率との間（いずれも全 175 問）に高い相関性（ $r = 0.9304$ ）を認めた。図 2 に散布図と相関係数を示す。

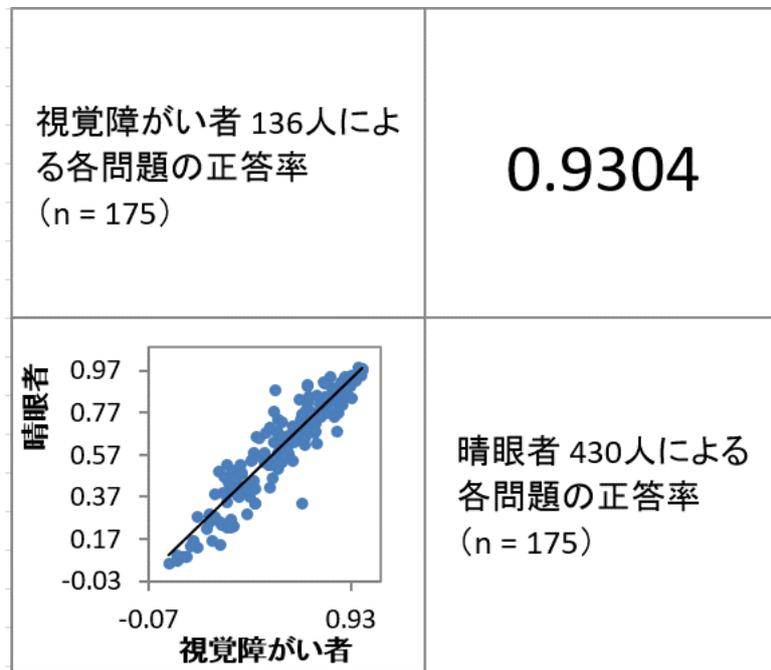


図 2 全 175 問における視覚障害者と晴眼者の正答率の散布図、相関係数

- 問題ごとの識別指数を【別紙 1】に示す。（0.25 未満を赤字、0.25 以上を青字で表記）

## 7 視覚障がい者における使用問題と解答時間の分析

- 視覚障がい者における使用問題区分と、平均解答時間および平均得点（アンケート有効回答のみ抽出）を表 3 に示す。

目的変数	人数	合計解答時間(分)		正答数(/175)	
		平均	標準偏差	平均	標準偏差
普通文字	5	258	96.73	109.4	26.60
拡大文字	66	289	116.50	104.26	21.16
超拡大文字	16	302	61.35	99.88	16.67
点字	13	318	58.92	102.54	20.32
デージー	24	327	65.87	94.78	20.88
合計	124	299.71	96.55	101.60	20.64

※晴眼者の平均解答時間  
前半 84 分  
後半 89 分

表 3 視覚障がい者における使用問題区分と、平均解答時間および平均得点

視覚障がい者において、使用問題の種別（※デージー併用者については、主に使用した方）を目的変数、解答時間（前半+後半）および正答数（前半+後半）を説明変数として多変量解析（多項ロジスティック回帰分析）を行ったが、回帰式に有意性を認めなかった。

また、使用問題ごとの平均解答時間と平均得点について、各々ノンパラメトリック検定（クラスカル=ウォリ

ス検定)を行ったが、解答時間、得点のいずれについても有意な差を認めなかった。

●視覚障がい者において、前半または(および)後半で「最後まで解答できなかった」と回答した者の内訳を(表4)に示す。

	主に使用した問題	前半 解答 時間 (分)	後半 解答 時間 (分)	総解答 時間 (分)	前半 正答率	後半 正答率	全正答率 (総得点)	解答でき なかった 問題	最後まで 解答できな かった理由
1	デイジー	150	195	345	47.78%	51.76%	<b>49.71%</b>	前半 後半	1. 元々文字を読む速度が遅いから 2. 選択肢を繰り返し確認したから 3. 問題を読むのに必要な感覚器(目、指、耳)が疲れたから 5. 集中力が続かなかったから 6. 考えるのに時間がかかったから
2	点字	195	195	390	46.67%	58.82%	<b>52.57%</b>	前半 後半	1. 元々文字を読む速度が遅いから
3	デイジー	195	195	390	48.89%	29.41%	<b>39.43%</b>	前半 後半	6. 考えるのに時間がかかったから
全体平均		153.79	153.70	307.49	57.74%	58.86%	<b>58.28%</b>		

表4 視覚障がい者において「時間内に最後まで解答できなかった」と回答した者の内訳

視覚障がい者においては、前半または後半で「最後まで解答できなかった」と回答した者の延べ回答数が5(前半2, 後半3)であったが、このうち、2名が前半・後半ともに「最後まで解答できなかった」と回答しているため、「最後まで解答できなかった」者の実人数は3名(3/136名; 2.206%)であった。このように、視覚障がい者においては、前半最後まで解答できなかった者が、後半もまた最後まで解答できない傾向(2/3名; 66.7%)が認められた。

## 8 晴眼者における解答時間の分析

●晴眼者において、前半または(および)後半で「最後まで解答できなかった」と回答した者の内訳を(表5)に示す。

晴眼者においては、前半または後半で「最後まで解答できなかった」の回答数が16(前半7, 後半9)であった。このうち、5名が前半・後半ともに「最後まで解答できなかった」と回答しているため、「最後まで解答できなかった」者の実人数は11名(11/426名; 2.58%)であった。視覚障がい者の場合と同様、前半・後半ともに最後まで解答できなかった者が複数名認められた(5/11; 45.45%)。また、晴眼者においては、「最後まで解答できなかった」と回答している者が同じ養成校に集中する傾向があり、11名の所属養成校は7校で、過半数の4校に「最後まで解答できなかった」と回答した者が複数見られた。

	前半 解答時間 (分)	後半 解答時間 (分)	総解答 時間 (分)	前半 正答率	後半 正答率	全正答率 (総得点)	解答でき なかった 問題	最後まで 解答できな かった理由
1	45	50	95	43.33%	56.47%	49.71%	前半	未回答 ※Q3に対し「1. 見直し ができ、さらに時間が 余った」と矛盾する 回答
2	100	130	230	45.56%	56.47%	50.86%	後半	1. もともと文字を 読む速度が遅いから 5. 考えるのに時間 がかかったから
3	120	130	250	62.22%	63.53%	62.86%	前半	5. 考えるのに時間 がかかったから
4	90	90	180	48.89%	60.00%	54.29%	前半 後半	1. もともと文字を 読む速度が遅いから 3. 問題を読むのに 疲れたから 4. 集中力が続かなか ったから
5	130	120	250	46.67%	41.18%	44.00%	前半 後半	5. 考えるのに時間 がかかったから
6	80	90	170	63.33%	77.65%	70.29%	後半	5. 考えるのに時間 がかかったから
7	80	90	170	51.11%	55.29%	53.14%	後半	5. 考えるのに時間 がかかったから
8	115	130	245	47.78%	47.06%	47.43%	後半	1. もともと文字を 読む速度が遅いから 5. 考えるのに時間 がかかったから
9	110	90	200	51.11%	65.88%	58.29%	前半 後半	1. もともと文字を 読む速度が遅いから 2. 選択肢を繰り返 し確認したから 4. 集中力が続かなか ったから 5. 考えるのに時間 がかかったから
10	130	80	210	43.33%	44.71%	44.00%	前半 後半	3. 問題を読むのに 疲れたから 4. 集中力が続かなか ったから 5. 考えるのに時間 がかかったから
11	115	110	225	54.44%	70.59%	62.29%	前半 後半	1. もともと文字を 読む速度が遅いから 2. 選択肢を繰り返 し確認したから 3. 問題を読むのに 疲れたから 4. 集中力が続かなか ったから 5. 考えるのに時間 がかかったから
全体 平均	84	89	173	57.68%	63.80%	60.65%		

全体平均の分母：解答時間 n=426

正答率 n=430

※全正答率が60%以上のものを青字で表している

表 5 晴眼者において視覚障がい者において「時間内に最後まで解答できなかった」と回答した者の内訳

9 アンケート集計結果(別紙 2)

●途中選出者記録を表 6 に示す。

【はき試験退出時間データ】 \*実施施設による記録に基づく

区 分	前 半						後 半					
	受験者 数	～60 分	～90 分	～110 分	～130 分	終了時在 籍数	受験者 数	～60 分	～90 分	～110 分	～130 分	終了時在 籍数
視覚障が い者	140	3	36	33	45	23	139	4	27	33	49	26
		2.1 %	25.7 %	23.6 %	32.1 %	16.4%		2.9 %	19.3 %	23.6 %	35.0 %	18.6%
晴眼者	431	65	227	87	42	11	431	51	196	110	50	24
		15.0 %	52.6 %	20.1 %	9.7%	2.5%		11.8 %	45.5 %	25.4 %	11.7 %	5.6%

表 6 途中退出者記録

●視覚障がい者および晴眼者のアンケート集計結果を【別紙 2】に示す。

		前半(90問)							
問題番号	科目	正答率	形式	視覚障がい者		聴覚者			
				正答率	識別指数	正答率	識別指数		
問題 1	医療概論	3	五択	98.53%	0.03	97.91%	0.06	98.06%	0.08
問題 2	衛生学	3	五択	80.15%	0.35	83.72%	0.21	82.86%	0.27
問題 3	関係法規	3	五択	88.24%	0.24	83.26%	0.21	84.54%	0.23
問題 4		1	五択	33.09%	0.32	42.33%	0.33	40.11%	0.35
問題 5	解剖学	2	五択	22.79%	0.47	25.12%	0.44	24.56%	0.45
問題 6		4	五択	24.26%	0.21	26.74%	0.34	26.15%	0.31
問題 7		5	五択	88.24%	0.15	81.16%	0.28	82.86%	0.24
問題 8	生理学	2	五択	16.91%	0.28	27.67%	0.27	25.09%	0.28
問題 9		2	五択	60.29%	0.85	62.33%	0.34	61.84%	0.42
問題 10	病理学	5	五択	45.59%	0.32	34.19%	0.22	36.93%	0.23
問題 11	臨床医学総論	2	五択	31.62%	0.32	34.65%	0.19	33.92%	0.22
問題 12		4	五択	92.65%	0.18	90.00%	0.14	90.64%	0.14
問題 13	臨床医学各論	3	五択	84.56%	0.09	86.98%	0.12	86.40%	0.14
問題 14		4	五択	11.76%	0.00	9.07%	0.12	9.72%	0.08
問題 15	リハビリテーション医学	2	五択	69.85%	0.08	61.86%	0.34	63.78%	0.29
問題 16		1	五択	52.94%	0.62	41.86%	0.50	44.52%	0.54
問題 17		3	五択	56.62%	0.50	58.14%	0.19	57.77%	0.28
問題 18	前半総合	5	五択	9.56%	-0.12	9.07%	-0.09	9.19%	-0.05
問題 19		4	五択	41.18%	0.29	29.07%	0.22	31.98%	0.22
問題 20		2	五択	37.50%	0.35	37.21%	0.20	37.28%	0.23
問題 21	医療概論	1	四択	93.38%	0.18	95.12%	0.07	94.70%	0.08
問題 22		4	四択	86.03%	0.21	88.14%	0.23	87.44%	0.22
問題 23		2	四択	31.62%	0.29	23.02%	0.28	25.09%	0.28
問題 24		3	四択	83.09%	0.24	89.07%	0.19	87.63%	0.20
問題 25	衛生学	4	四択	58.82%	0.38	65.81%	0.31	64.13%	0.38
問題 26		1	四択	27.94%	0.15	14.65%	0.16	17.84%	0.12
問題 27		3	四択	97.79%	0.09	95.12%	0.06	95.76%	0.04
問題 28		4	四択	86.76%	0.18	76.98%	0.18	79.33%	0.20
問題 29		2	四択	96.32%	0.15	98.84%	0.09	98.23%	0.08
問題 30	関係法規	2	四択	93.38%	0.12	91.40%	0.17	91.87%	0.14
問題 31		3	四択	93.38%	0.18	84.19%	0.26	86.40%	0.23
問題 32		3	四択	34.56%	-0.09	23.72%	-0.03	26.33%	-0.06
問題 33		2	四択	56.62%	0.47	67.67%	0.42	65.02%	0.43
問題 34		3	四択	55.88%	0.88	53.26%	0.34	53.89%	0.42
問題 35	解剖学	4	四択	22.79%	0.06	28.60%	0.14	27.21%	0.11
問題 36		2	四択	86.76%	0.21	79.77%	0.38	81.45%	0.32
問題 37		3	四択	50.00%	0.85	53.72%	0.57	52.83%	0.58
問題 38		3	四択	67.65%	0.32	64.65%	0.25	65.37%	0.25
問題 39		2	四択	58.09%	0.15	58.60%	0.44	58.48%	0.38
問題 40		3	四択	66.18%	0.56	66.51%	0.44	66.43%	0.46
問題 41		4	四択	57.35%	0.44	62.09%	0.45	60.95%	0.44
問題 42	生理学	1	四択	52.94%	0.50	52.33%	0.40	52.47%	0.43
問題 43		2	四択	33.09%	0.53	22.79%	0.30	25.27%	0.33
問題 44		4	四択	35.29%	0.32	43.02%	0.31	41.17%	0.30
問題 45		1	四択	70.59%	0.41	78.60%	0.28	76.88%	0.31
問題 46		2	四択	49.26%	0.44	55.81%	0.53	54.24%	0.54
問題 47	病理学	1	四択	37.50%	0.09	50.23%	-0.04	47.17%	-0.01
問題 48		1	四択	83.82%	0.29	80.93%	0.34	81.63%	0.30
問題 49		3	四択	60.29%	0.18	60.93%	0.41	60.78%	0.34
問題 50		2	四択	60.29%	0.88	60.00%	0.43	60.07%	0.51
問題 51		3	四択	84.56%	0.32	75.12%	0.29	77.39%	0.28
問題 52		3	四択	85.29%	0.32	77.44%	0.29	79.33%	0.27
問題 53		3	四択	31.62%	0.29	40.00%	0.28	37.99%	0.28
問題 54	臨床医学総論	4	四択	59.56%	0.18	60.00%	0.10	59.89%	0.12
問題 55		4	四択	55.88%	0.58	68.60%	0.29	65.55%	0.35
問題 56		2	四択	75.00%	0.47	72.33%	0.48	72.97%	0.47
問題 57		4	四択	63.97%	0.06	54.19%	0.12	56.54%	0.09
問題 58		2	四択	98.53%	0.06	97.21%	0.03	97.53%	0.04
問題 59		3	四択	58.82%	0.53	66.05%	0.32	64.31%	0.39
問題 60		1	四択	6.62%	0.09	6.74%	0.09	6.71%	0.08
問題 61		4	四択	85.29%	0.09	83.26%	0.19	83.75%	0.17
問題 62		2	四択	42.85%	0.38	37.21%	0.40	38.52%	0.39
問題 63		4	四択	70.59%	0.29	72.56%	0.19	72.08%	0.22
問題 64		4	四択	33.82%	0.59	40.00%	0.46	38.52%	0.51
問題 65		2	四択	73.53%	0.71	76.05%	0.39	75.44%	0.47
問題 66		3	四択	31.62%	0.56	52.33%	0.41	47.35%	0.49
問題 67	臨床医学各論	2	四択	94.85%	0.09	92.56%	0.14	93.11%	0.11
問題 68		2	四択	45.59%	0.09	34.19%	0.04	36.93%	0.01
問題 69		2	四択	72.79%	0.09	77.91%	0.13	76.68%	0.14
問題 70		4	四択	6.62%	-0.06	9.77%	-0.09	9.01%	-0.08
問題 71		4	四択	70.59%	0.32	72.79%	0.22	72.26%	0.24
問題 72		3	四択	78.68%	0.41	80.93%	0.22	80.39%	0.27
問題 73		3	四択	56.62%	0.59	62.79%	0.35	61.31%	0.40
問題 74		2	四択	69.85%	0.08	67.21%	0.33	67.84%	0.23
問題 75		4	四択	68.38%	0.09	34.19%	0.25	42.40%	0.18
問題 76		2	四択	14.71%	0.03	16.51%	0.08	16.08%	0.07
問題 77		4	四択	64.71%	0.24	63.26%	0.25	63.60%	0.24
問題 78		3	四択	58.82%	0.56	53.72%	0.16	54.95%	0.25
問題 79		2	四択	64.71%	0.32	70.00%	0.18	68.73%	0.19
問題 80	リハビリテーション医学	1	四択	2.94%	-0.09	6.05%	-0.02	5.30%	-0.04
問題 81		3	四択	56.62%	0.21	50.70%	0.18	52.12%	0.21
問題 82		3	四択	22.79%	0.15	29.07%	0.17	27.56%	0.14
問題 83		1	四択	44.85%	0.00	57.91%	0.10	54.77%	0.08
問題 84		3	四択	44.85%	0.26	44.88%	0.27	44.88%	0.30
問題 85		2	四択	71.32%	0.44	81.63%	0.38	79.15%	0.39
問題 86	前半総合	2	四択	61.76%	0.26	66.51%	0.47	65.37%	0.44
問題 87		1	四択	77.21%	0.47	77.44%	0.38	77.39%	0.37
問題 88		1	四択	50.00%	0.82	57.91%	0.47	56.01%	0.54
問題 89	東洋医学概論	4	四択	38.24%	0.47	42.33%	0.31	41.34%	0.37
問題 90		1	四択	67.65%	0.47	73.95%	0.53	72.44%	0.52

		後半(85問)							
問題番号	科目	正答率	形式	視覚障がい者		聴覚者			
				正答率	識別指数	正答率	識別指数		
問題 91		1	四択	89.71%	0.26	89.77%	0.10	89.75%	0.12
問題 92		3	四択	61.76%	0.32	57.44%	0.20	58.48%	0.23
問題 93		4	四択	38.24%	0.53	52.33%	0.28	48.94%	0.35
問題 94		4	四択	21.32%	0.15	22.09%	0.22	21.91%	0.04
問題 95		4	四択	33.82%	0.35	49.77%	0.42	45.94%	0.42
問題 96		3	四択	52.94%	0.21	54.42%	0.48	54.06%	0.41
問題 97	東洋医学概論	3	四択	55.15%	0.50	88.14%	0.26	80.21%	0.35
問題 98		4	四択	71.32%	0.47	90.23%	0.19	85.69%	0.30
問題 99		4	四択	42.65%	0.82	42.79%	0.49	42.76%	0.52
問題 100		4	四択	41.18%	0.35	40.70%	0.48	40.81%	0.44
問題 101		2	四択	52.21%	0.50	54.65%	0.52	54.06%	0.54
問題 102		3	四択	77.94%	0.41	75.12%	0.40	75.80%	0.39
問題 103		2	四択	36.03%	0.28	42.56%	0.22	40.99%	0.25
問題 104		2	四択	71.32%	0.53	68.37%	0.51	69.08%	0.51
問題 105		1	四択	85.29%	0.29	87.44%	0.25	86.93%	0.28
問題 106		3	四択	89.71%	0.21	88.14%	0.23	88.52%	0.23
問題 107		1	四択	71.32%	0.59	75.12%	0.35	74.20%	0.40
問題 108		3	四択	67.65%	0.29	67.44%	0.27	67.49%	0.27
問題 109		3	四択	74.26%	0.28	67.44%	0.25	69.08%	0.27
問題 110		4	四択	85.29%	0.38	80.70%	0.38	81.80%	0.37
問題 111	経絡経穴概論	1	四択	82.35%	0.24	93.95%	0.06	91.17%	0.11
問題 112		3	四択	24.26%	0.03	16.28%	0.12	18.20%	0.08
問題 113		1	四択	25.74%	0.24	27.91%	0.18	27.99%	0.20
問題 114		3	四択	59.56%	0.58	61.40%	0.46	60.95%	0.49
問題 115		4	四択	16.91%	0.21	13.49%	0.09	14.31%	0.12
問題 116		1	四択	36.76%	0.59	47.21%	0.39	44.70%	0.48
問題 117		3	四択	25.74%	0.15	38.84%	0.45	35.69%	0.37
問題 118		3	四択	27.94%	0.21	25.35%	0.30	25.97%	0.28
問題 119		3	四択	70.59%	0.41	69.07%	0.39	69.43%	0.39
問題 120		1	四択	33.09%	0.44	28.51%	0.31	28.09%	0.32
問題 121		1	四択	50.74%	0.44	67.44%	0.42	63.43%	0.46
問題 122		3	四択	27.21%	0.32	49.07%	0.10	43.82%	0.20
問題 123		2	四択	66.91%	0.09	83.26%	0.25	79.33%	0.23
問題 124		2	四択	83.82%	0.06	84.42%	0.20	84.28%	0.18
問題 125		4	四択	44.12%	0.24	55.35%	0.21	52.65%	0.22
問題 126		2	四択	56.62%	0.38	73.72%	0.31	69.61%	0.33
問題 127		1	四択	73.53%	0.50	77.44%	0.38	76.50%	0.39
問題 128		2	四択	71.32%	0.18	82.56%	0.25	79.86%	0.27
問題 129		1	四択	74.26%	0.41	70.23%	0.20	71.20%	0.28
問題 130		3	四択	75.00%	0.50	68.14%	0.49	69.79%	0.48
問題 131	東洋医学臨床論	3	四択	32.35%	0.29	44.42%	0.31	41.52%	0.34
問題 132		2	四択	63.97%	0.44	70.93%	0.14	69.26%	0.19
問題 133		3	四択	44.12%	0.32	43.72%	0.39	43.82%	0.38
問題 134		2	四択	54.41%					

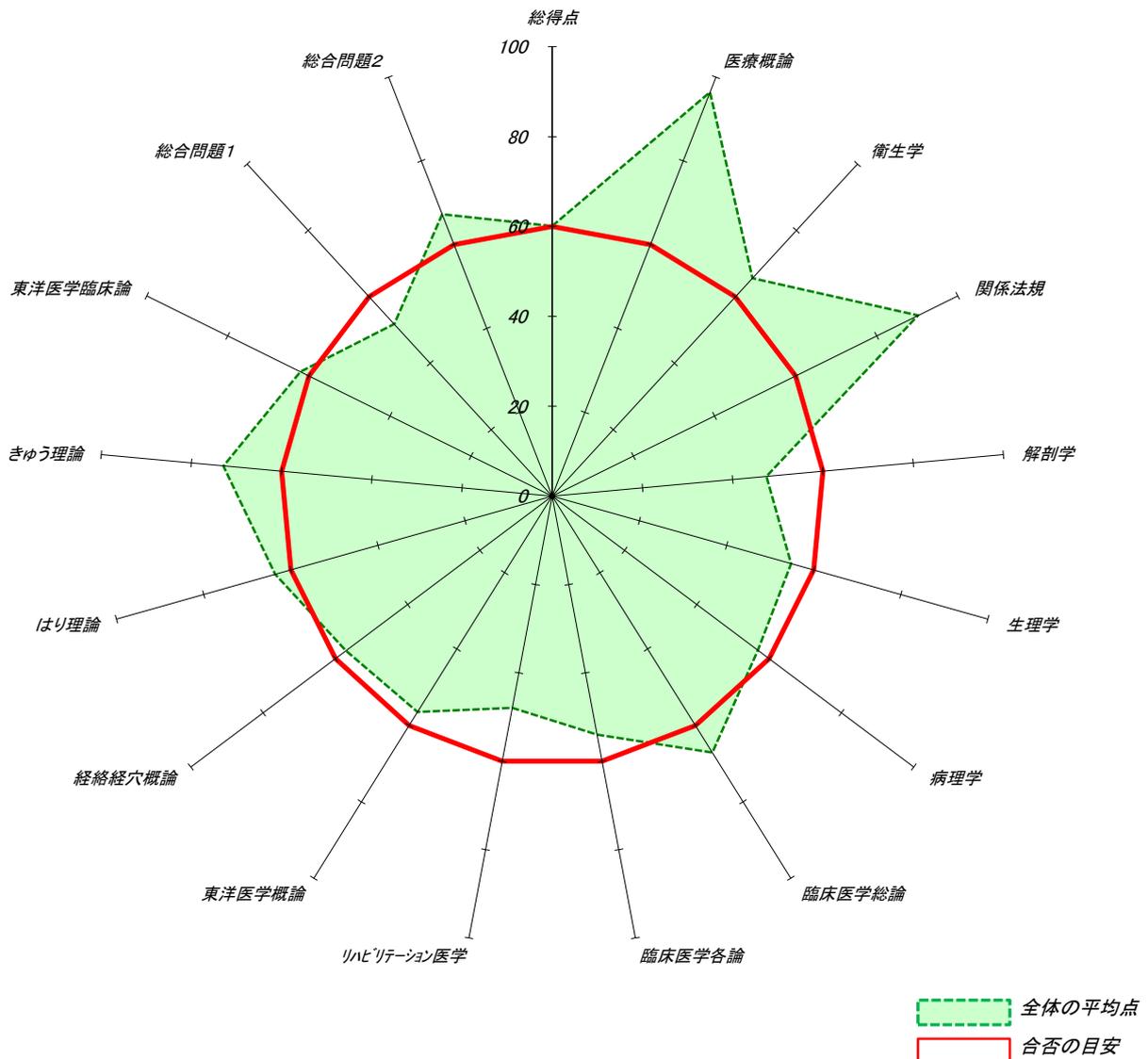
# 総集計表

## 第2回はり師きゆう師試行試験(2018)集計結果

注:点数( )内は100%換算値

出題数 : 175問      満点 : 175.0点      受験者平均 : 105.2点 ( 60.1)      受験者数 : 567人  
 標準偏差 : 18.45      最高点 : 155.0点 ( 88.6)      最低点 : 58.0点 ( 33.1)

出題科目	出題数	満点	平均点	標準偏差	最高点	最低点
医療概論	(2問)	2.0	1.9 ( 96.4)	0.26	2.0	0.0
衛生学	(8問)	8.0	5.2 ( 65.6)	1.34	8.0	1.0
関係法規	(4問)	4.0	3.6 ( 90.2)	0.68	4.0	1.0
解剖学	(11問)	11.0	5.2 ( 47.5)	2.09	11.0	0.0
生理学	(9問)	9.0	4.9 ( 54.8)	1.88	9.0	0.0
病理学	(6問)	6.0	3.4 ( 56.9)	1.32	6.0	0.0
臨床医学総論	(10問)	10.0	6.7 ( 67.1)	1.65	10.0	1.0
臨床医学各論	(20問)	20.0	10.8 ( 54.0)	2.69	19.0	2.0
リハビリテーション医学	(10問)	10.0	4.8 ( 47.9)	1.72	9.0	0.0
東洋医学概論	(15問)	15.0	8.5 ( 56.5)	2.71	15.0	0.0
経絡経穴概論	(15問)	15.0	8.6 ( 57.1)	2.36	14.0	2.0
はり理論	(10問)	10.0	6.4 ( 63.6)	1.66	10.0	0.0
きゆう理論	(10問)	10.0	7.3 ( 72.9)	1.85	10.0	0.0
東洋医学臨床論	(25問)	25.0	15.5 ( 62.1)	3.45	24.0	6.0
総合問題1	(8問)	8.0	4.1 ( 51.8)	1.62	8.0	0.0
総合問題2	(12問)	12.0	8.1 ( 67.3)	1.91	12.0	2.0



視覚障がい者 はき試験アンケート

アンケート数
136

I プロフィール											
1 良い方の矯正視力				2 視野の状態			3 使用した問題。デジジー併用は、主に使用した方1つを選択。				
1 0.02未満	2 0.02以上 0.04未満	3 0.04以上 0.3未満	4 0.3以上	1 測定不能	2 視野狭窄	3 正常	1 普通文字	2 拡大文字	3 超拡大文字	4 点字	5 デジジー
34	19	48	34	23	97	14	8	71	16	13	27

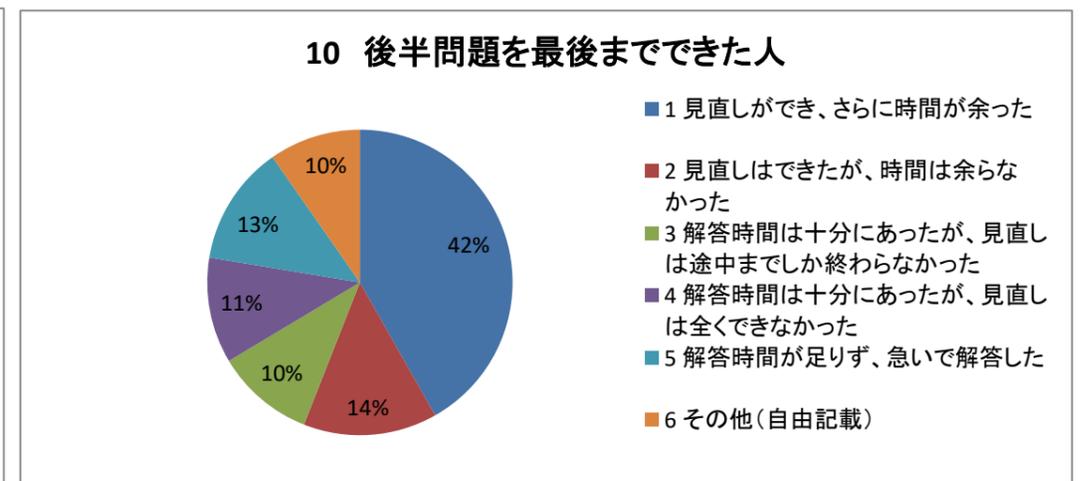
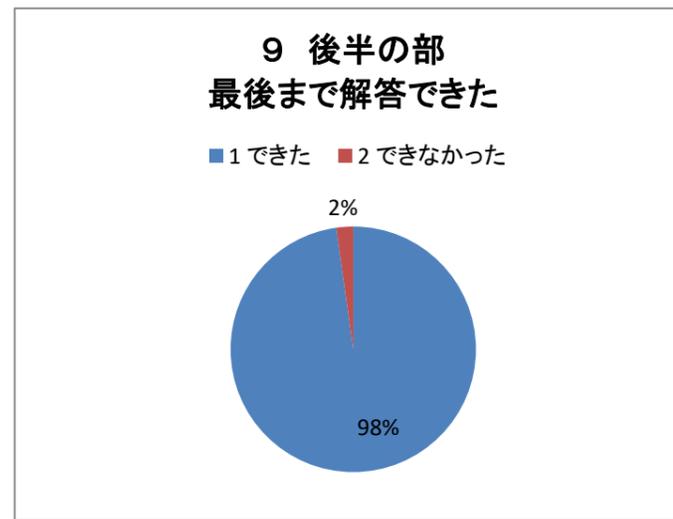
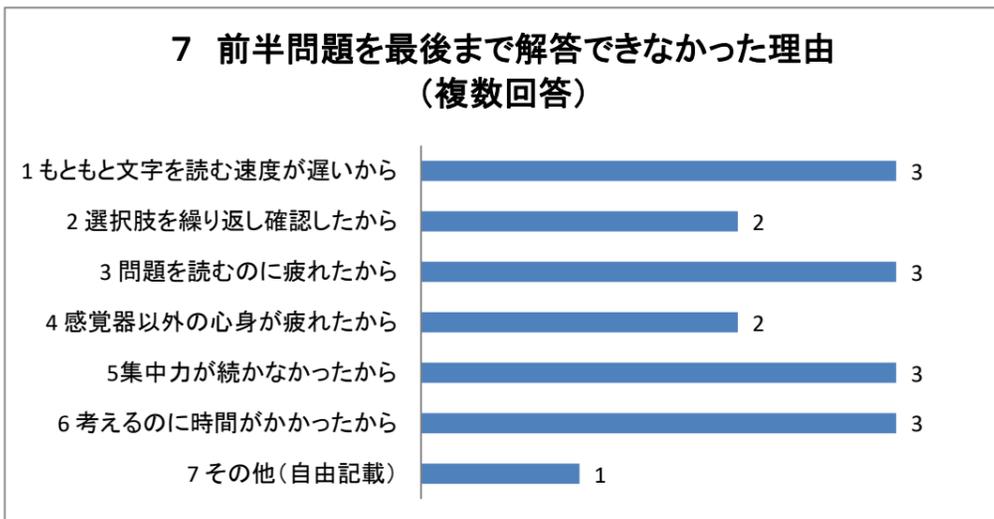
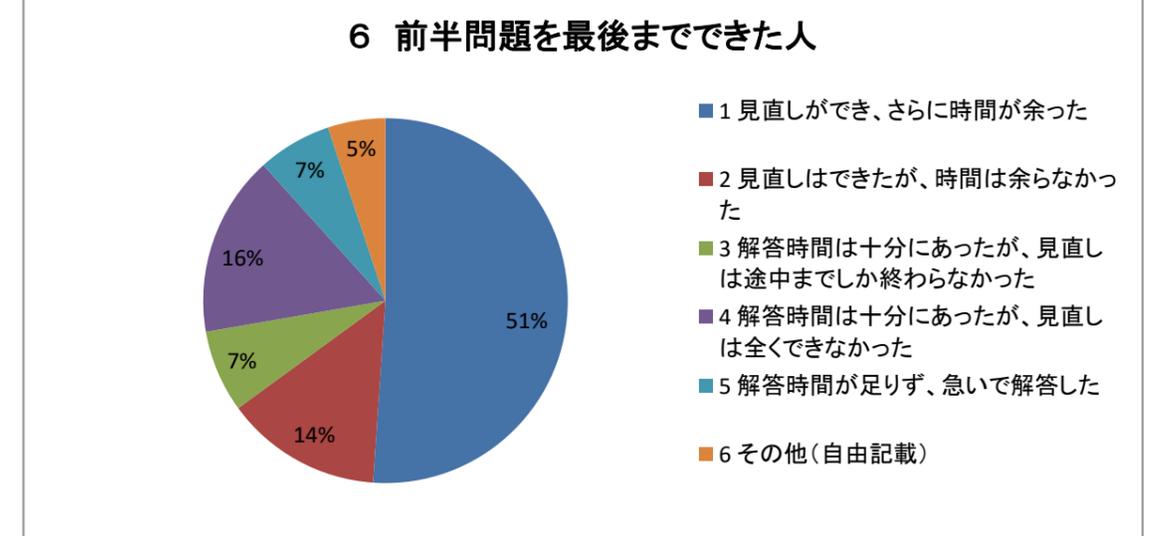
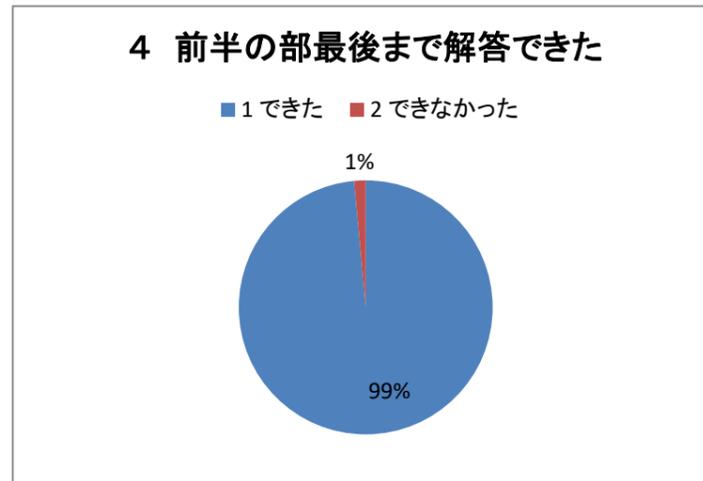
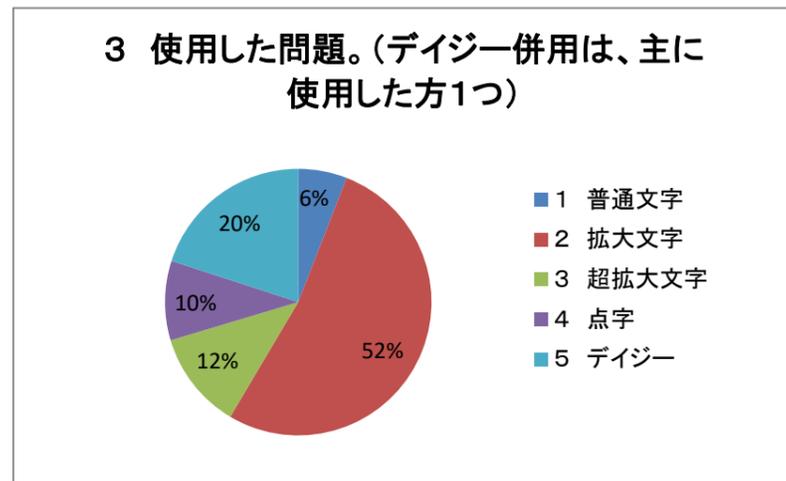
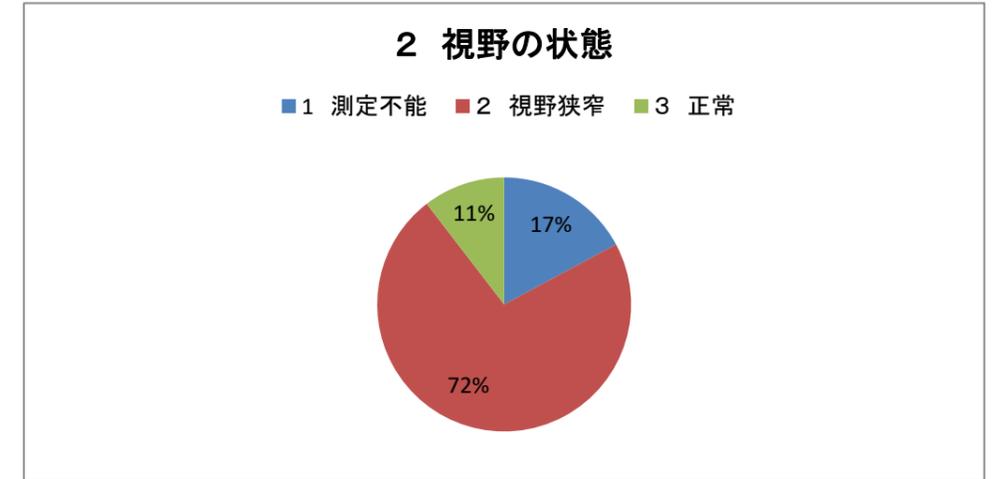
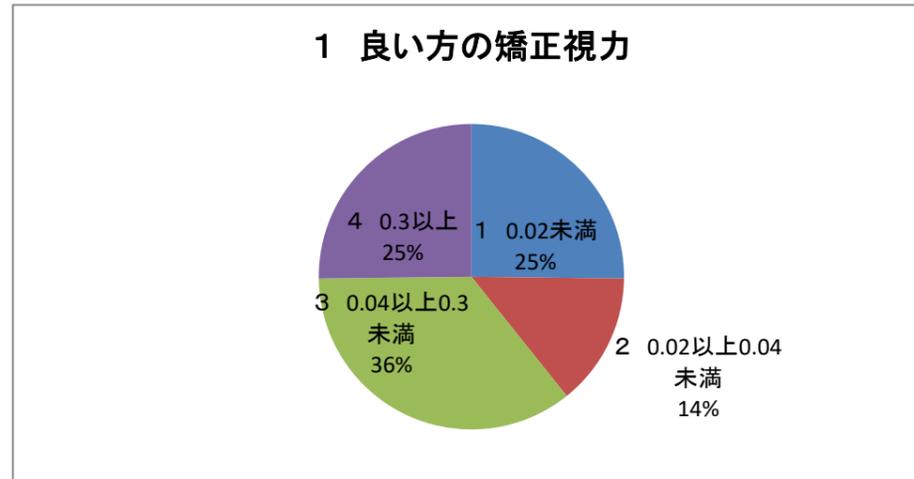
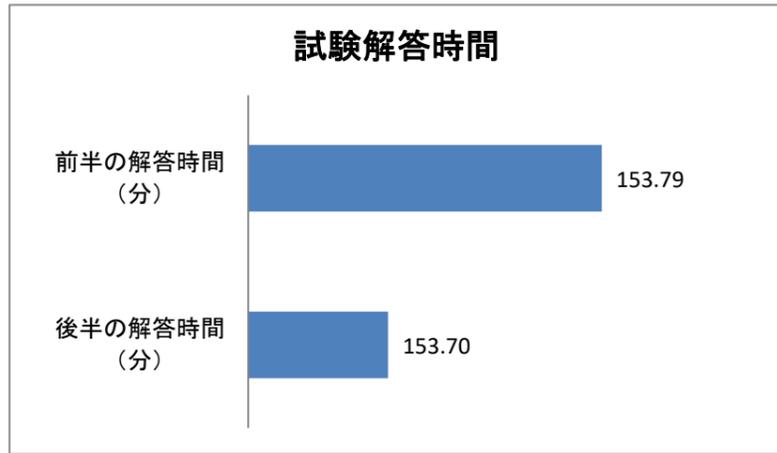
後半の解答 時間(分)	前半の解答 時間(分)
153.70	153.79

II 午前の部の試験時間															
4 前半の解答時間	5 前半の部 最後まで解答できた		6 前半問題を最後までできた人						7 前半最後までできなかった理由(複数回答)						
(分)	1 できた	2 できなかった	1 見直しができ、さらに時間が余った	2 見直しはできたが、時間は余らなかった	3 解答時間は十分にあったが、見直しは途中でしか終わらなかった	4 解答時間は十分にあったが、見直しは全くできなかった	5 解答時間が足りず、急いで解答した	6 その他(自由記載)	7 その他(自由記載)	6 考えるのに時間がかかったから	5 集中力が続かなかったから	4 感覚器以外の心身が疲れたから	3 問題を読むのに疲れたから	2 選択肢を繰り返し確認したから	1 もともと文字を読む速度が遅いから
153.79	134	2	70	19	10	22	9	7	1	3	3	2	3	2	3

III 午後の部の試験時間															
8 後半の解答時間	9 後半の部 最後まで解答できた		10 後半問題を最後までできた人						11 後半最後までできなかった理由(複数回答)						
(分)	1 できた	2 できなかった	1 見直しができ、さらに時間が余った	2 見直しはできたが、時間は余らなかった	3 解答時間は十分にあったが、見直しは途中でしか終わらなかった	4 解答時間は十分にあったが、見直しは全くできなかった	5 解答時間が足りず、急いで解答した	6 その他(自由記載)	7 その他(自由記載)	6 考えるのに時間がかかったから	5 集中力が続かなかったから	4 感覚器以外の心身が疲れたから	3 問題を読むのに疲れたから	2 選択肢を繰り返し確認したから	1 もともと文字を読む速度が遅いから
153.70	132	3	56	19	14	15	17	13	2	6	6	3	6	5	4

IV 問題数について															
12 問題数について			13 「175問より多い方がよい」または「161問から175問がよい」理由(複数回答)				14 160問のままがよい理由(複数回答)				15 前半と後半の問題数の配分について				
1 175問より多い方がよい	2 161問から175問がよい	3 160問のままがよい	5 その他(自由記載)	4 集中力を維持できたから	3 疲労感を感じなかったから	2 問題数が多い方が客観性が増すから	1 はり師、きゅう師の資質向上に關係するから	5 その他(自由記載)	4 集中力が続かなかったから	3 感覚器以外の心身が疲れたから	2 問題を読むのに必要な感覚器(目、指、耳)が疲れたから	1 はり師、きゅう師の資質向上に關係しないから	1 試行試験のように文字数を考慮して午前の問題を多くするのがよい	2 国家試験のように午前と午後の問題数は同じにするのがよい	3 その他(自由記載)
4	14	115	2	0	1	7	6	19	77	72	96	55	49	76	10

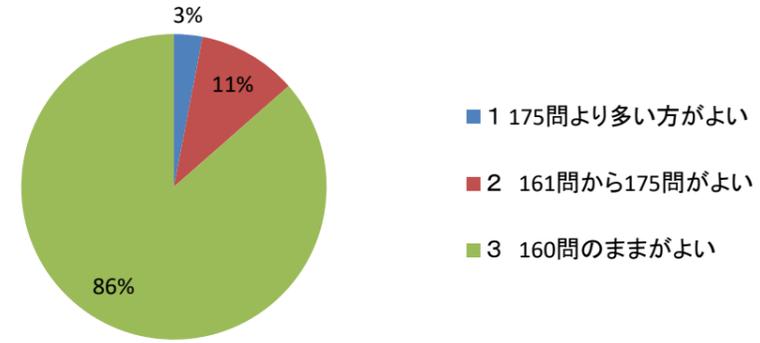
V 五肢択一問題について																		
16 五肢択一の必要性		17 必要な理由(複数回答)				18 必要ない理由(複数回答)				19 五肢択一で困ったと感じた事項(複数回答)				20 五肢択一を含めると困ると感じる問題形式(複数回答)				
1 必要	2 必要ない	4 その他(自由記載)	3 四肢択一では簡単すぎるから	2 選択肢が多い方が客観性が増すから	1 はり師、きゅう師の資質向上に關係するから	4 その他(自由記載)	3 問題内容と關係なく注意を払わなければならないことが増えるから	2 はり師、きゅう師の免許保有者が減少するから	1 はり師、きゅう師の資質向上に關係しないから	4 その他(自由記載)	3 五肢択一であるか否かを意識していなければならない	2 選択肢を読み返す回数が増えた	1 読む分量が増えた	5 その他(自由記載)	4 症例問題	3 選択肢が線結びの組み合わせになっている問題	2 選択肢が文章である問題	1 選択肢が単語である問題
16	115	2	2	8	8	20	74	23	62	12	68	97	96	19	81	59	114	11



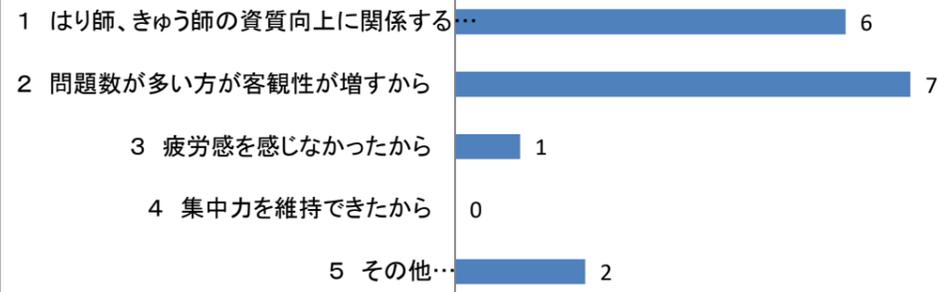
11 後半問題を最後まで解答できなかった理由  
(複数回答)



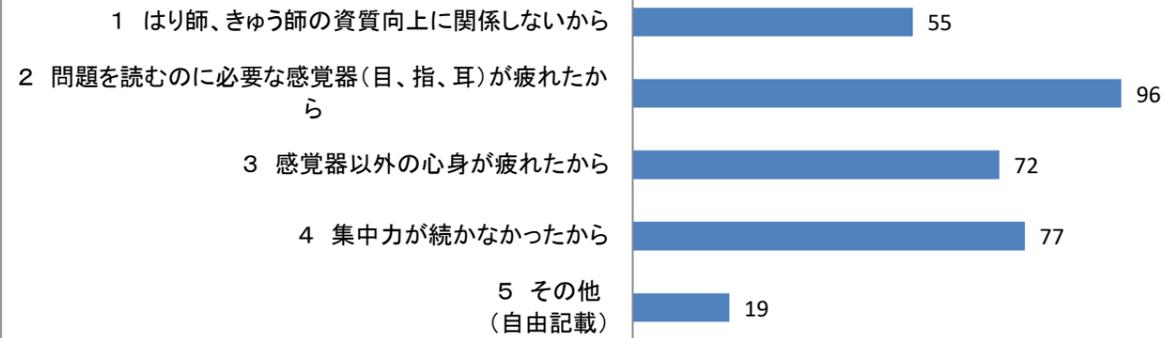
12 問題数について



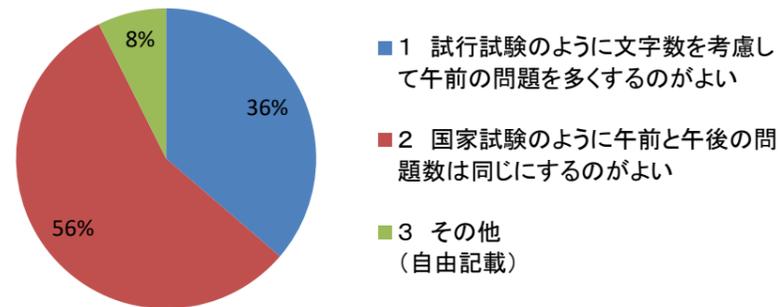
13 「175問より多い方がよい」または「161問から175問がよい」理由(複数回答)



14 160問のままがよい理由(複数回答)

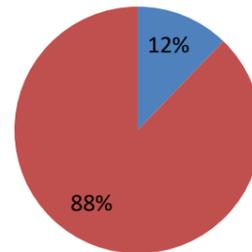


15 前半と後半の問題数の配分について

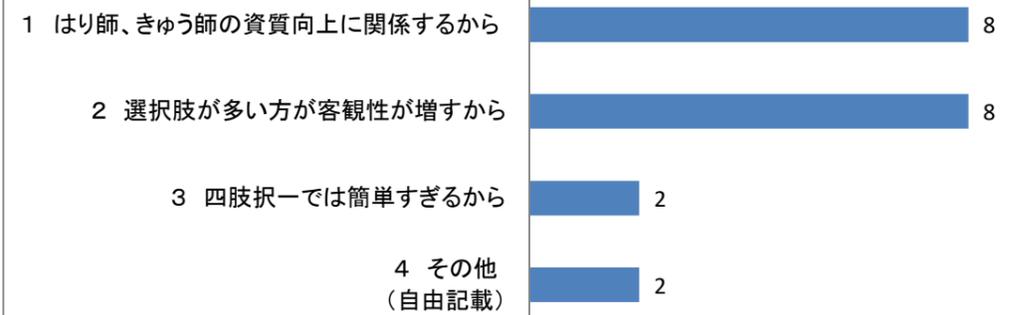


16 五肢択一の必要性

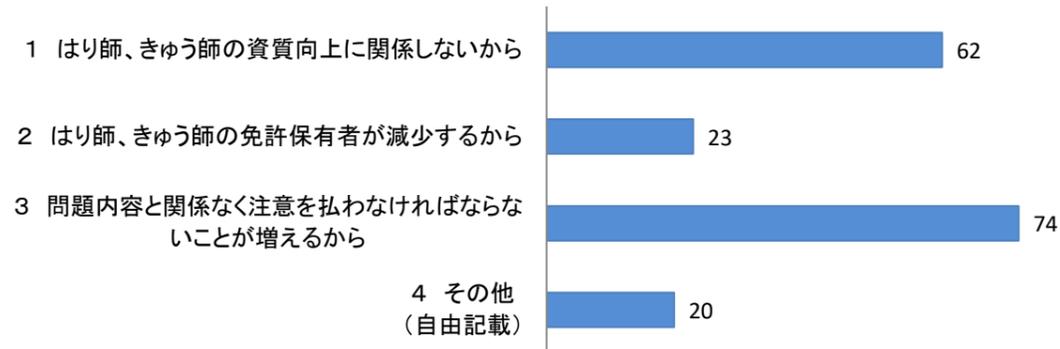
■ 1 必要 ■ 2 必要ない



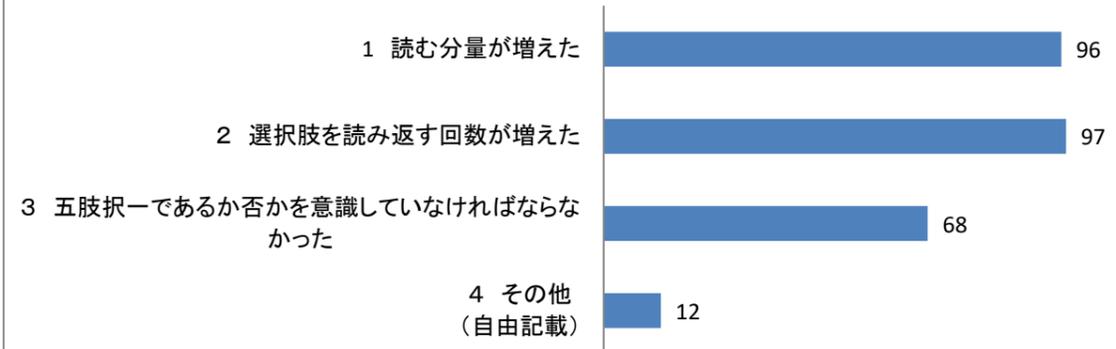
17 五肢択一が必要な理由



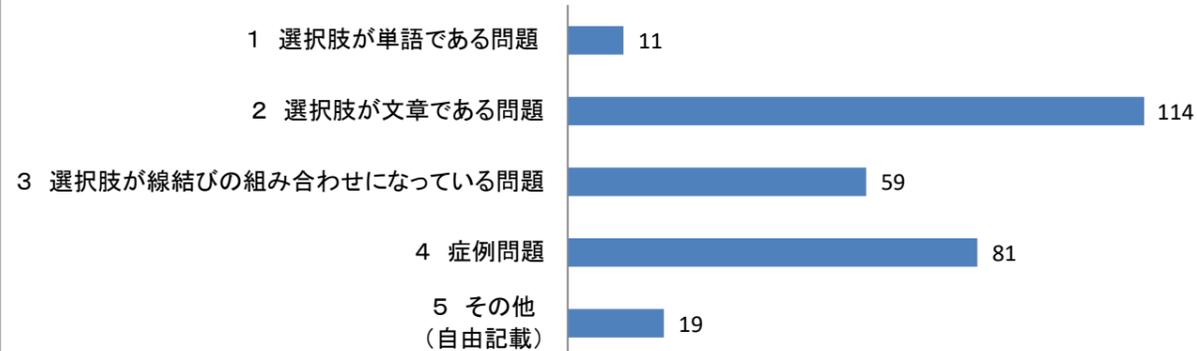
18 五肢択一が必要ない理由



19 五肢択一で困ったと感じた事項(複数回答)



20 五肢択一を含めると困ると感じる問題形式(複数回答)



【コメント一覧】

II 午前の部の試験時間について

6 午前の部は最後まで解答できた方へ、試験時間について。

- 見直し、回答をメモに書くこともできなかった。
- 目が痛く途中で止めた。
- 見直す時間はあったが、目とルーペを持つ手が疲れ、見直しはできなかった。回答洩れが無いかの確認は行った。
- 急ぎぎみで回答し、見直しをしたが、疲れたので退出した。
- 体調不良の為見直しをしていない。
- 回答時間はあったが、疲れてしまい見直しが出来なかった。

7 午前の部は最後まで解答できなかった方理由

- 音声デジターのCDアクセス時間(スキップやリバース動作)が長く、目的の部分再生するのに時間がかかった。  
また、視覚障害者がメモを取りながら問題を考えるためには、PCのように複数の作業が同時にできるキーボードタイプのエディターが必要。

## Ⅲ 午後の部の試験について

## 10 午後の部は最後まで解答できた方へ、試験時間について。

- 時間的に問題ないが眼が疲れてつらい。
- 文章が長く見直しする余力がなかった。
- 見直し回答のメモ写しできず、午前の部より時間が足りず最後の数10問は？
- 時間内には終わったが、後半になると、目の疲れなどがあり見直しには至らなかった。
- 時間内にはできたが目の疲れがひどくできなかった。
- 回答時間はあったが集中力が続かなかった。
- 見直す時間はあったが、目とルーペを持つ手が疲れ、集中力が続かなかった為、回答洩れが無いかを確認するだけで、見直すことはできなかった。
- 途中で経穴が多くてあきらめた。
- 事情により途中退出しました。本来は見直しを3回以上するが1回だけした。
- 見直しはできましたが、時間を1時間勘違いしてしまい急ぎましたが、急いだにもかかわらず、2時間45分であったため、3時間15分の感覚でおこなうとおわらなかったと思う。
- 体調不良の為見直しをしていない。
- 見直し時間は十分あったが集中力が続かなかった。
- 回答時間はあったが、疲れてしまい見直しが出来なかった。

## 11 午前の部は最後まで解答できなかった方理由

- 音声デジターのCDアクセス時間(スキップやリバース動作)が長く、目的の部分再生するのに時間がかかった。また、視覚障害者がメモを取りながら問題を考えるためには、PCのように複数の作業が同時にできるキーボードタイプのエディターが必要。
- 感じが確認できないので、どんな漢字か知りたい。

## Ⅳ 問題数について

## 13 「175問より多い方がよい」または「161問から175問がよい」とご回答した理由。

- 中途半端
- あはき3科合わせて出題してはいかがか。

## 14 「160問のままがよい」と回答した理由。

- 近年の問題は資格の質向上のために難しくなっているが、問題数を増やすなら難易度はそのままに、難易度を上げるなら問題数をそのままにしてほしい。どちらの場合、受験時の負担が大きすぎる。
- 現在の国家試験でも十分にひねった問題が出ており、年々難易度が上がってしまっているにも関わらず、出題数、選択肢をこれ以上増やすとはり師、きゅう師が減っていく一方だと思う。
- 症例問題が多く読むのに時間がかかる。
- 文章問題が多く見直しが難しい。
- とにかく眼精疲労が辛い。
- 細かい漢字を読むのが疲れたから。
- 今年の国家試験問題を、この形で行うことに関しては、異議はないですが、将来的に行う際、私はこの形では受けないから。とにかく現在を大切にしたいので、いつも慣れている160問4択問題がベスト。
- 視覚に頼れない人は大変だから。
- 症例文が多すぎる。1つの症例で問いが2問ずつだったのでリスクが高い。
- 問題数を増やすと、ページ数が増えるため、見えにくい者からすると読みにくかったり、ときにくい。ページをめくる回数が多いと拡大読書器を使うものが不利になると思う。(デジター・点字も)
- 問題をデジターで聞きながら、更に問題文を読んで解答したが、デジターでは文章を理解するのに何度か聞きなおしたり、解答に○をつけるのに、そこに鉛筆をもっていくのに時間がかかったり、時間が経つにつれ集中力がきれ、目がつかれて心身ともに疲労してしまった、これが国家試験本番だと更に疲労することが予想される。
- 後で採点する際の回答を白紙に写す作業が全くできなかったから。
- 「正しいのを選べ」というのと「誤っているのを選べ」というのが混在していたので苦労した。
- 時間がなかったの見直しが的確にできなかった。(簡単に読んだり、飛ばしたり) 見直しを落ち着いてしたかた。(午前→給食準備もあり 午後共に)見直しをちゃんとしていない。
- 文章問題が多く集中力が途切れた。
- 視神経萎縮の為、頭痛耳鳴りが集中力を使うと起こってしまう為。拡大読書機も使用している為、吐き気も出現する事がある為。
- 選択肢が長すぎ、漢字の説明がない。
- 見直しができるから。1問1問集中して解けるから。

## 15 午前85問、午後80問の問題数の配分について

- 午前でリハビリ領域までやり、午後から東洋医学の領域で分けて欲しい。
- 症例問題が多くなる後半の問題を前半にもってきたら良い。1(91)のような表記は視野の狭い身として不便。
- 科目で区別するのが良い。
- 割りきれないのでは？
- 読む、聞く、考える時間を考慮して配分すべき。
- 点字、音声での、受験者は、時間が足りないと思う。
- 問題、選択肢共に文字数が多過ぎる。問題に内容がくだい。
- 160問で良い。しんどい。自分はまだ見えている方なので、自分がしんどいと感じれば他の人はもっとしんどいと思う。
- 上記と同じで、国家試験と同様160問4択であってほしい。
- 午後の問題数が多く、目の疲れがかなりあった。

## V 五肢択一問題について

## 17 五肢択一問題が必要と思う理由について。

- 少し雰囲気を変えるため。
- 午後も20問あった方が良い。

## 18 五肢択一問題が必要ないと思う理由について。

- 一問当たりに使う時間が増えるから。
- 健常者は問題選択肢が一度に見渡せるが私は何度も戻ったり記憶したりして誤答、時間のロスにつながる。
- 5択になったところで答えは1つなので解き方は変わりません 難易度も上がっていないし、文章が増えてむしろ視覚障害者が不利になっただけだと思います。
- 各問題の難易度に差がありすぎて4択と5択を客観視できない。
- 障害をもち資格もなければ仕事が出来ない。
- 読むのがしんどい。特に午後の試験にひびく。あん摩もやってはりもやってだと疲労がひどい。
- 文字の見間違いが増えるから。
- 正解は一つなので余分な選択肢が増えるだけで考える(=読む時間)が増えるだけ。多様な障害を持つ障害者に負担を更にかける。
- 択一の回答なら四肢でも五肢でもあまり変わらないから。
- 4択で問題数をふやすだけで良い。
- 私は絶対に必要ないと思う。問題の出し方を変えると解くスピードや音声のデイジー使用の方の負担も増えるし、とにかく今まで通りがベスト。
- 視野におさまりにくくなり、読みとばしてしまうため。
- 4択も5択もかわらないため、見えにくい者の目の疲労がたたますだけだと思う。
- 選択肢が1つ増えたところで、特に問題の質には関係ないように思われる。また、5択になることで視野に入りづらくその分時間がかかり目に疲労が著しく感じた。
- 読んだことや確認に時間がかかるから
- 現行の試験で、6割取れない人が多いのに、正解率が低くなる必要性を感じない為。合格率20～30%の資格にしても、受験する人がいなくなるだけだと思う。社会復帰をあきらめて、家でじっとしている方を選ぶ人が増えると思う。
- 体力がなくなって終了後フラフラしたから。冬は点字使用者にとって指がかじかみやすいからすみ字使用者より不利になると思うから。
- 聞くのと解答に時間がかかるから
- 近年、問題や選択肢の文章が長くなっている傾向を感じるので五肢択一問題を実施するのであれば、問題数は増やさない方が良いと思う。
- 選択肢が記述表示(図や表を用いない形式)であり、選択肢の意味のとり方によっては“正しい”“誤り”のどちらでも判断できてしまうので四肢択一のままが良い。

## 19 四肢択一問題と比較して五肢択一問題で困ったと感じた事

- ここまで難しくする必要に疑問。難しいものを解けるのが=良い施術者。に結びつけることに疑問。
- 四肢択一の時より目が疲れた。
- 問題、選択肢うい見直す回数が増えた
- 特にこれといったは無い。
- 特になし。
- 五択ならずすべて5択にしてほしい 四択か五択かどっちかにしてほしい。
- 視野狭窄があり選択肢に○をつけるのに目で追うことが多くなった。
- 五肢択一は取り入れてよいと思うが視覚障害者にとってはきついことも。
- 解答を選ぶのに時間がかかる。
- Daisy問題とページとが合っていない。見出しがついていないなどの問題があり、大変困りました。
- 慣れていないこともあり5番目の選択肢について、聞きもらすことがあった。

## 20 五肢択一問題を含めることになった場合、困ると感じる問題形式

- 後半の問題(疲労)
- 五択と四択が混在すると混乱してしまうので全て五択で良いと思います。試行試験の文字と文字の間隔がせまく、読みづらさを感じた。
- このアンケートの表紙にある受験番号が見えにくいです。問題用紙と同じように各自で書くか、大きく記載してほしい。
- デイジー操作で問題をよみなおす際なぜか前の問にとんだ。(含め操作性！！)
- 文章が長いとき。
- 問題が多いと途中で集中力がなくなる。(とくにデイジー)
- デイジーの場合、ページや見出し番号などから問題に飛べるようにしてほしい。問題の難易度が高く、数も少なかったので疲れがいつもより大きかった。
- 問題136の選択肢の漢字の説明が欲しかった。
- 骨度をこたえる問題で問題番号と回答のスペースをもう少しあけてほしい。
- プロフィールについて、眼疾患についてのみ？ 内部疾患をかかえている方も多いと思うので？アンケート内容を再考願いたい。
- 墨字でも問題文や選択肢の文字数が増えると、読むのに時間がかかってしまうので、音声で受験する人にとってはかなり負担が大きく、不利になると思う。
- 文章問題はしんどいし、そもそも160で良い。視覚障害者への配慮がない。視野を限ったレンズや、レンズをにごらせたメガネを使って受験したり、点字を読んで受験する人、デイジーでずっと聞きつづける人の身になって下さい。
- 漢字が細かかったりすると、読むスピードも下がる為困る。
- 印刷書体について、今回の試行試験と国試の活字は同じと思うが、これが大変読みにくく感じる。特に画数が多い漢字は、倍率の高いルーペの持ち換えてみなければならない。五肢択一で読み量が増えると疲労度が増す。本アンケートの書体は読み易く、文字間隔もよく、大変読み易く思う。読み易い書体への変更を、今年度の国試から実施して頂きたく、強く要望する。
- 問題数を増やすには中途半端。誤字はやめてほしい。資質向上するなら実技試験をすれば良い。
- すべてにおいて困る。今まで通りを希望する。
- 症例問題を見開きにまとめると症例が読みやすい。
- やはり、目の疲労が蓄積され、それが心身にも影響して集中力が持続しにくい。
- 視野の関係で見落としそうになるため。
- 文章が長すぎるとやはり視覚障害者には大変である。

アンケート数	5 後半の 解答時間	1 前半の 解答時間
426	89	84

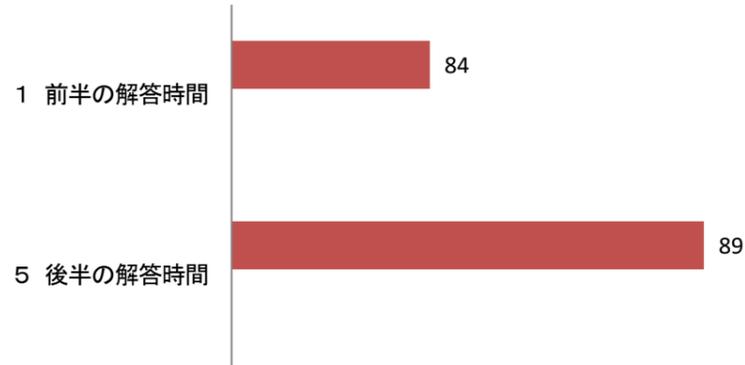
II 午前部の試験時間															
1 前半の 解答時間	2 前半の部 最後まで解答できた		3 前半 最後まで解答できた人						4 前半最後までできなかった理由(複数回答)						
(分)	1 できた	2 できな かった	1 見直し ができ、さ らに時間 が余った	2 見直し はできた が、時間 は余らな かった	3 解答時 間は十分 にあった が、見直 しは途中 までしか 終わらな かった	4 解答時 間は十分 にあった が、見直 しは全 くできな かった	5 解答時 間 が 足 り ず、急 いで解 答した	6 その他 (自由記 載)	6 その他 (自由記 載)	5 考 え る の に 時 間 が か か っ た か ら	4 集 中 力 が 続 か な か っ た か ら	3 問 題 を 読 む の に 疲 れ た か ら	2 選 択 肢 を 繰 り 返 し 確 認 し た か ら	1 もと も と 文 字 を 読 む 速 度 が 遅 い か ら	
83	419	7	299	51	25	19	10	15	2	7	3	3	1	3	

III 午後部の試験時間															
5 後半の 解答時間 (分)	6 後半の部 最後まで 解答できたか		7 後半 最後まで解答できた人へ試験時間について						8 後半 最後まで解答できなかった理由(複数回答)						
(分)	1 できた	2 できな かった	1 見直し ができ、さ らに時間 が余った	2 見直し はできた が、時間 は余らな かった	3 解答時 間は十分 にあった が、見直 しは途中 までしか 終わらな かった	4 解答時 間は十分 にあった が、見直 しは全 くできな かった	5 解答時 間 が 足 り ず、急 いで解 答した	6 その他 (自由記 載)	6 その他 (自由記 載)	5 考 え る の に 時 間 が か か っ た か ら	4 集 中 力 が 続 か な か っ た か ら	3 問 題 を 読 む の に 疲 れ た か ら	2 選 択 肢 を 繰 り 返 し 確 認 し た か ら	1 もと も と 文 字 を 読 む 速 度 が 遅 い か ら	
89	413	9	274	68	22	16	18	21	0	15	5	2	4	5	

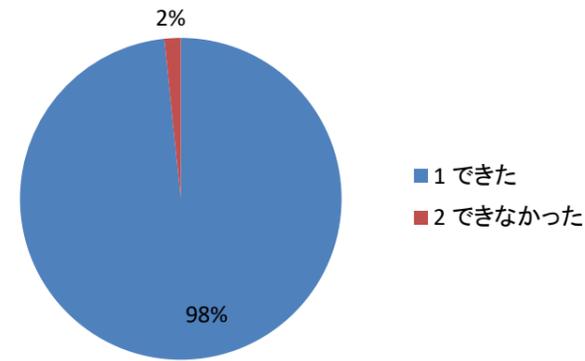
IV 問題数について															
9 問題数について			10 「175問より多い方がよい」または「161問から175問がよい」理由(複数回答)					11 160問のままがよい理由(複数回答)				12 前半と後半の問題数の配分について			
1. 175問 より多い 方がよい	2. 161問 から175 問がよい	3. 160問 のままが よい	5. その他 (自由記 載)	4. 集 中 力 を 維 持 で き た か ら	3. 疲 労 感 を 感 じ な か っ た か ら	2. 問 題 数 が 多 い 方 が 客 観 性 が 増 す か ら	1. は り 師 、 き ゆう 師 の 資 質 向 上 に 関 係 す る か ら	4 その他 (自由記 載)	3 集 中 力 が 続 か な か っ た か ら	2 問 題 を 読 む の に 疲 れ た か ら	1 は り 師 、 き ゆう 師 の 資 質 向 上 に 関 係 し な い か ら	1. 試 行 試 験 の よ う に 文 字 数 を 考 慮 し て 午 前 の 問 題 を 多 く す る の が よ い	2. 国 家 試 験 の よ う に 午 前 と 午 後 の 問 題 数 は 同 じ に す る の が よ い	3. その他 (自由記 載)	
28	57	343	12	12	8	42	41	42	200	125	93	117	282	30	

V 五肢択一問題について																			
13 五肢択一問題に ついて		14 必要な理由(複数回答)					15 五肢択一問題が必要ない理由(複数回答)				16 四肢択一問題と比較して五肢択一問題で 困ったこと				17 五肢択一問題を含めることになった場合、困ると感じる 問題形式(複数回答)				
1. 必要	2. 必要 ない	4. その他 (自由記 載)	3. 四 肢 択 一 で は 簡 単 さ が 多 い か ら	2. 選 択 肢 が 多 い 方 が 客 観 性 が 増 す か ら	1 は り 師 、 き ゆう 師 の 資 質 向 上 に 関 係 す る か ら	4. その他 (自由記 載)	3. 問 題 内 容 と 関 係 が 薄 い か ら	2 は り 師 、 き ゆう 師 の 免 許 保 有 者 が 減 少 す る か ら	1 は り 師 、 き ゆう 師 の 資 質 向 上 に 関 係 し な い か ら	4. その他 (自由記 載)	3. 五 肢 択 一 で あ る か 否 か を 意 識 し て い な け れ ば な ら な か っ た	2. 選 択 肢 を 読 み 返 す 回 数 が 増 え た	1. 読 む 分 量 が 増 え た	5 その他 (自由記 載)	4 症 例 問 題	3 選 択 肢 が 専 断 的 な 組 合 せ に な っ て い る 問 題	2 選 択 肢 が 文 章 で あ る 問 題	1 選 択 肢 が 単 語 で あ る 問 題	試験内容 について の意見
83	344	7	3	27	58	73	194	55	109	46	142	233	252	52	306	129	168	36	84

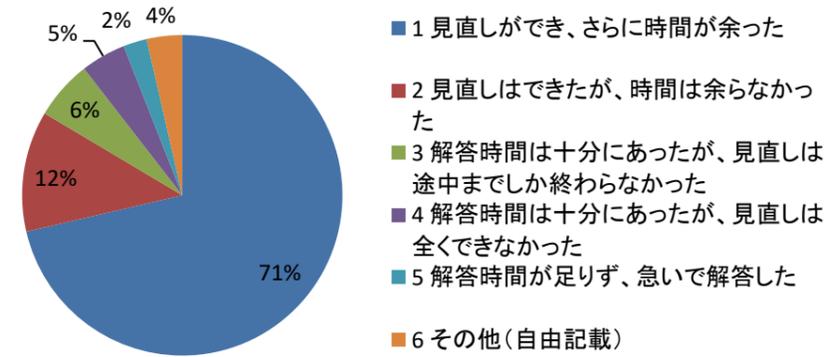
### 試験解答時間(分)



### 2 前半の部 最後まで解答できたか



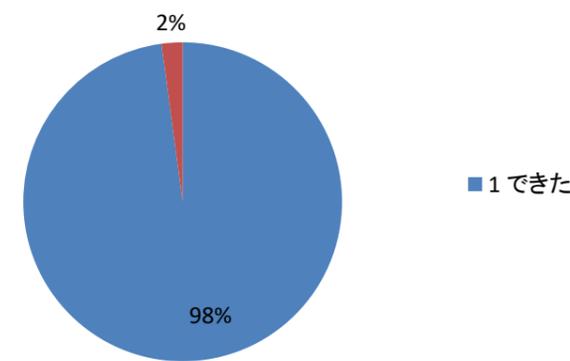
### 3 前半 最後まで解答できた人へ試験時間について



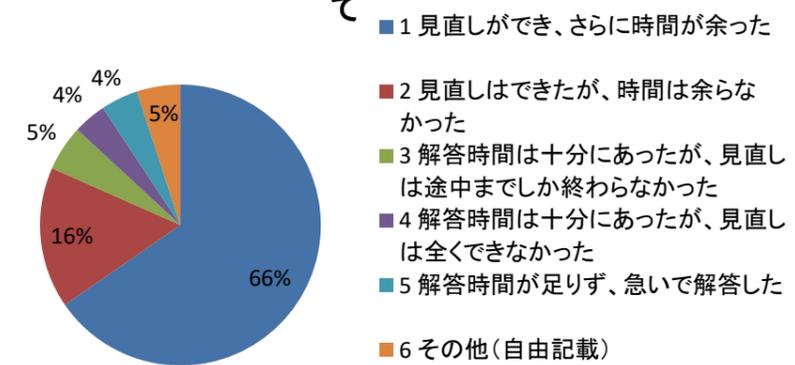
### 4 前半最後までできなかった理由(複数回答)



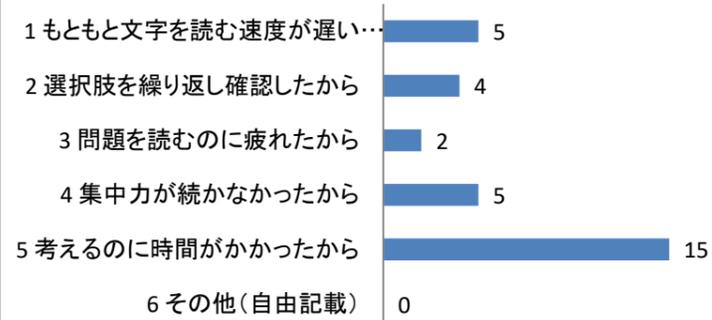
### 6 後半の部 最後まで解答できたか



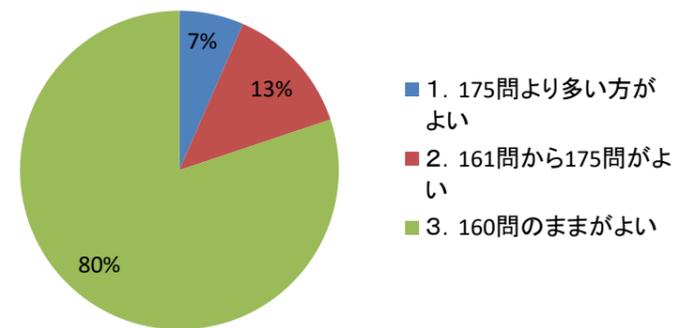
### 7 後半 最後まで解答できた人へ試験時間について



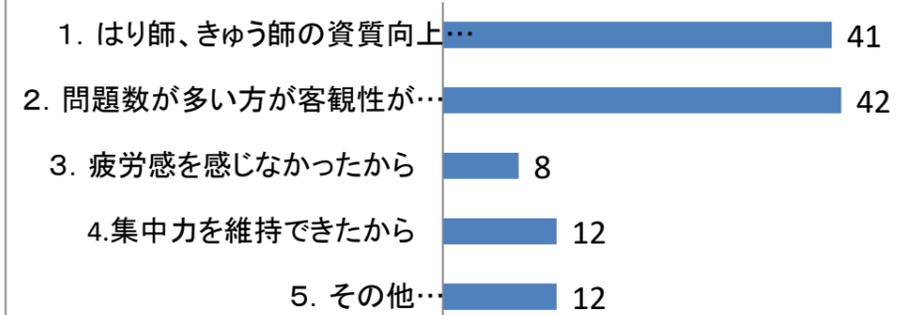
### 8 後半 最後まで解答できなかった理由(複数回答)



### 9 問題数について

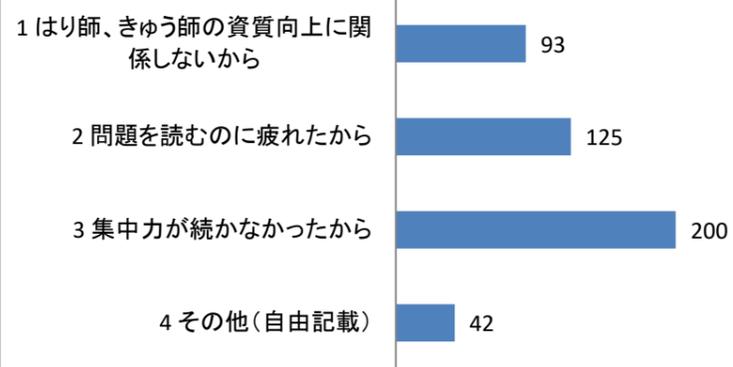


### 10 「175問より多い方がよい」または「161問から175問がよい」理由(複数回答)

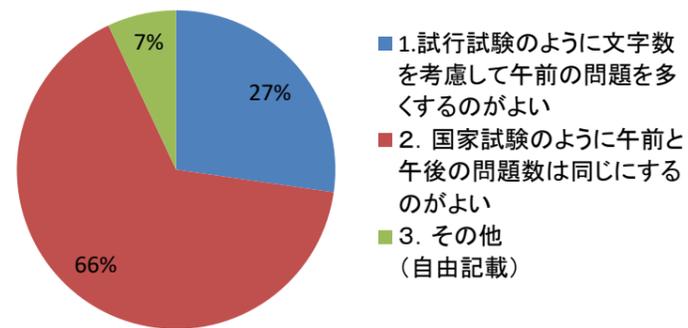


## 晴眼者 はき試験アンケート

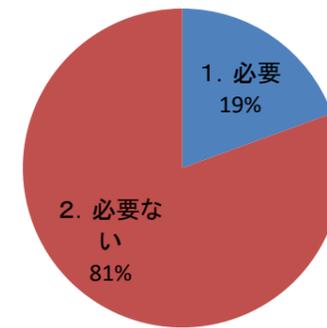
### 11 160問のままがよい理由(複数回答)



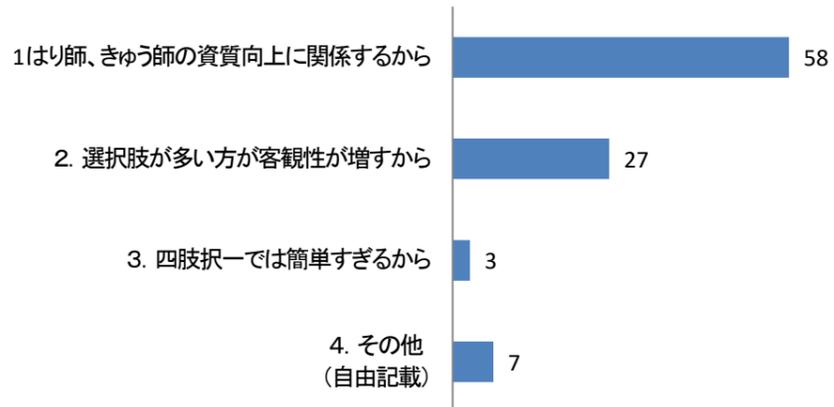
### 12 前半と後半の問題数の配分について



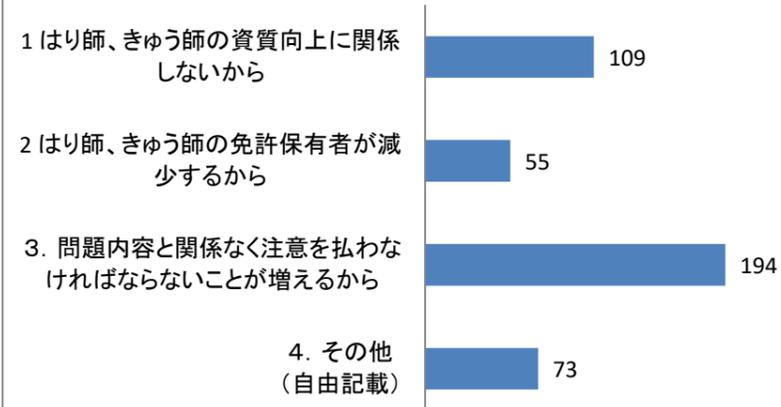
### 13 五肢択一問題について



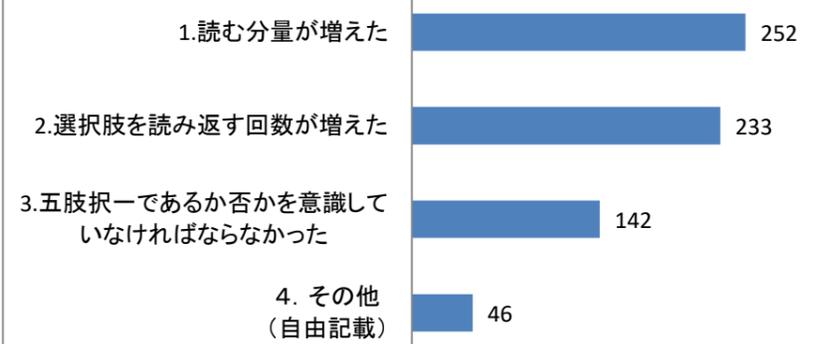
### 14 必要な理由(複数回答)



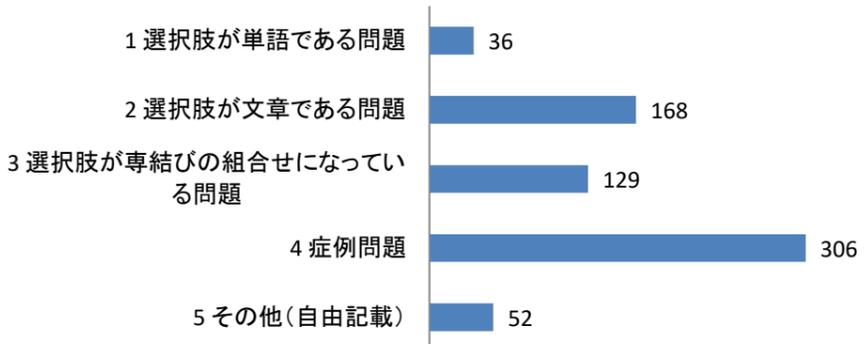
### 15 五肢択一問題が必要な理由



### 16 四肢択一問題と比較して五肢択一問題で困ったこと(複数回答)



### 17 五肢択一問題を含めることになった場合、困ると感じる問題形式(複数回答)



【コメント一覧】

II 午前の部の試験時間について

3 前半最後まで解答できた人へ、試験時間について

- 見直ししていない。(×9)
- 時間は余った。(×3)
- わからない問題が多かったため、あまり考えなかった。
- 見直しはできたがギリギリだった。
- 今、できていない教科がわかっているのでテストをしているよりも自分の穴を埋める勉強がしたくて、急いで解いてしまいました。

4 前半最後までできなかった理由

- 見直ししていない。(×12)
- わからない問題が多かったため、考えなかった。
- 分からない問題が多く、時間があまった。
- 最後ぬったが、読めずに、選んだものもある。
- 後半50問超えたあたりで疲れを感じ始め、見直すのは記述ミスのみとなった。時間は余るが集中力が持続しない。
- 見直しはできたがギリギリだった。

III 問題数について

10 「175問より多い方がよい」または「161問から175問がよい」理由(複数回答)

- 多い方が気分が良い。
- 点数が上がる確率が増える。
- 科目別で、出来が悪かった科目を別の科目でカバーできる可能性がある。
- どちらもあまりかわらない。
- 当たる確率が上がるかもしれないから。
- 問題数が多い方が解ける問題も増えそうだから。
- 苦手な問題が多い時に他でフォローできるかもしれないから。
- リスク軽減
- 深く掘った問題が増えるため。
- 特に気にしてないから。
- 160問と大差ないので、正直どちらでも良い。
- 解いている感覚的に調度良い。

11 160問のままがよい理由

- 時間が足りない。
- 現状、本試において160問で行われているため。
- 受からせるためのテストで落とすためのテスト？ 基礎や最低限の事を分からせるためなのか、マニアックな所を出して難しくしたいのか、そもそも国試だけで資質向上を目指している時点で論点がズレているのではないか？
- 意味はない。
- 160問になれている為。
- 大きすぎると取得難度が上がるから。
- 国家試験と同じ問題数で、自分がどの程度出来るのかを見たい。
- 160問への慣れがある為 残り15問増では、疲労度が違う。
- 160問でも十二分に問題数は足りていると思う。
- 首や肩 身体がつらいから。
- 暗記や考えさせる問題が増えたから。
- 臨床に出てから関係ないと言われる事が多いから だから、難しく、多い、意味あまりないと思う。
- 問題数が多いと時間が足りない。
- 多くして何か意味があるのか？
- 国試と同じように試験を受けたい。

## 晴眼者 はき試験アンケート

- 数を増やして微妙な問題が増えるよりは質の良い問題を作って欲しい。
- 国試と同じ問題数の方が合否がわかりやすいから。
- 増やす意味が分からない。業をつぶしにかかっている。
- 何のために多くするのか分からない。
- 1問ずついいいに考えたいから。
- 各学問について問われ方の境界に区切りが無くなっている(解剖の知識と他で問う傾向)ので、問題数を増やすなら、教科書に準じた設問にすべき。(解剖なら解剖)
- 問題数は本番と同じにした方が模試としては良い気がしたから。
- 問題を作成する人も、試験範囲と問題数によって、1問にかかる意識が変わると思います。
- 前半の問題は、出題科目のジャンルがばらばらのように思われた。今までのように解剖学→生理学のように並びで出題されたら160問以上でも良いかと思った。
- 1問1問よく考えながらしているとその問題の傾向により時間が足らなくなると思われる。
- 問題数を多くするより、問題の難易度を上げるべきだと思うから。
- 問題文を理解し解答を考えるのに時間がかかってしまい、時間を気にしてしまうから。
- 問題を解いて、見直しの時間や解いている時間がギリギリになってしまうかもしれないから。
- 160問でも175問でも差を感じなかったため。
- 問題数が多い為、見直しができないので。
- 問題数の質による、文だけでなく絵でも良いのではないか？
- ゆっくり考えたい。
- かわってもかわらなくてもよい。
- 時間がかかるから。
- 経穴などの教科は一問解くのに時間がかかる、集中力もつかう。
- 自分の出来る分野が出る可能性が上がる。
- 1問を問くのに時間がかかる。とくに午後経絡を位置で示したり、症例問題など、時間のかかる問題が多くだされるなら時間がギリギリになってしまう。
- しっかり問題を読んで解答できるように時間は十分にある方が良いと思う。勉強してきた人の方が悩む傾向にあると思う。知識のある人が、資格を取ることが出来る方が、資質向上につながると思う。
- 特に午後問題で「3」の傾向が強かったです。
- 1問の重みが増す。
- 適切な問題数だと思う。

### 12 前半と後半の問題数の配分について

- どちらでもよい。午後に専門科目の方がよい。
- 午後にもっと時間が必要と感じた。
- 午後の東洋系の問題の難しさが増しており時間を要するため午後の時間を長くするか午前の問題を多くしてほしい。
- 午後の方が、集中力が欠けやすいから、午前が多い方が良い。
- あまり問題数の差異は感じなかった。
- 午後の問題を解くのに時間を要する為、午後の問題数を少なくする方が良いと思われる。
- 午前と午後と科目をまたぐと違和感をおぼえる。(特に西洋と東洋)
- 教科は午前・午後またがらないのがよい。
- どこが区切りのよさ？89.90の東医系はむしろ中途半ば。
- 専門科目の午後にまとめるべき。前半の最後に2問入れるのはナンセンスだと思う。
- 午前の問題数は90問ですえおき。午後の問題数は、90問、ただし前問の答えを反映し、次問を解くタイプの割合を増加。
- どちらでもよい。午後に専門科目の方がよい。
- 後半問題数は少ないが、それでも文章が多く感じた。
- 科目で区切りはつけてほしい。
- 文字が大きいのは良いが、私には大木すぎに感じた。
- どちらでもよい。
- 午前の方が集中力が高いのでAM100問 PM75問にして欲しい。
- 1, 2どちらでもよい。1だと午前の問題数の量で疲れる。2だと午後に文字数が多くて疲れる。
- 後半に経穴や東臨など読みこみが必要なところや1文字違いなどAMに比べ、文字数が多いため疲労感がとてもある。
- どちらでもよい。午後に専門科目の方がよい。
- 午後に午前の問題を入れずに区切ってほしい。同じ分野なのに午前と午後にあるのは分かりにくい。
- 特に何も感じない。

#### IV 五肢択一問題について

##### 15 五肢択一問題が必要ないと思う理由

- 四択でもより深く問題が作成してあると資質は向上すると思う。
- 問題に時間がかかるかもしれないから。
- 間違いの選択肢を増やしても意味ないと思う。
- 選択肢の数より、内容の難しさのほうが問題としての質が上がると考えたため。
- 4択問題でも十分だと思う、5択にしなくても問題を具体的にする。
- 択一だと四肢でも五肢でもあまりかわらない。
- 時間が必要になり時間内に終わらなくなる。
- 増えても減っても関係ないから。
- 4択と5択を混ぜると、マークシートのミスが多くなる。
- 途中から4択になるからマークミスが増える。
- 比較的複雑ではない問題で五肢択一になっていたので選択肢が増えてもあまり気にならなかった。必要かときかれればそうではない。
- 数より選択肢の内容が重要だと思うから。
- 5肢でも4肢でも難易度そんなに変わらない。
- どうせやるなら全て5肢択一で良い。
- 問題の難易度を上げれば知識の向上につながると思うから。
- 20問のみだったので4択と5択で難易度はあまり変わらなかった。
- 良質な選択肢がふえたわけでもないので不要。
- 4択でも5択よりも、難易度の方が大切に感じる。
- 国家試験と同じで。
- 3年間やってきて、なぜ最後に落とそうとするのかわからない。
- 読み疲れる。正確はわかっているけども全て読まないで不安。

##### 16 四肢択一問題と比較して五肢択一問題で困ったこと

- 特になし(×18)
- マークミスの可能性。四肢択一問題の答えをマークする時に、④と⑤を間違えそうになる。(×13)
- ひっかかりが多く感じる。
- 五肢に気付かなかった。
- 日スポ協ATの試験勉強をしていたためとくに困らなかった。
- 特になし、ただ問題数が多かったしか感じなかった。
- 迷う時間や内容が増える。
- 解答に自信のない問題の際、消去法で答えを選ぶ難易度が上がった。
- 時間が足りない。
- 解答用紙の確認をするのが大変だった。
- 見るのがつかれる。
- すごく難しく感じてしまう。
- やるなら全問五肢択一問題の方がいい。
- 5択にする必要は無いと思うが、今回は、5択の問題数が少なかった為特に何も感じなかった。
- 解答をしぼりきれない。
- 解答に考える時間が長くなるのでどれが正解かよけいにわからなくなる。
- さらなる知識量の必要性を感じるので良いと思った。
- 175題すべてが5択だと「1, 2, 3」全て当てはまる様になると思った。また、制限時間をオーバーすることもあると思う。

17 五肢択一問題を含めることになった場合、困ると感じる問題形式

- 特になし。(×16)
- 数値、アルファベットばかりで困った。
- 経穴の取穴場所問題。
- 不適當さえなければよいが、五択にしたいのはなぜですか？こちらが教えてほしい。
- カタカナが多い問題。
- 人により受けとり方の変ってしまう様な問題。(文章)
- あえて言うなら全部。
- 1とも共通するが、検査法などの専門用語で選択肢が多いと難しい。
- one bestが多くなると、ややこしい。
- 読むのが大変になるのが厳しい。
- 午後問題は時間がかかるから5択なら文字数が増えすぎると見づらいし、困る。
- 全て
- 問題を読み解くのに時間がかかり集中力がなくなってしまうので。かなり迷わされてしまう。
- 経穴を選択する問題で表現の仕方が簡素だったり細かかったりとまざっているとよくわからなくなる。
- 読む文量が増加すると、文章の場合集中力と気力がかなりけずられると思う。
- 読む量が多い。
- 日本語が読みにくいもの、日本語の試験ではないはず。もっと分かりやすく。
- 考えさせられる問題が増える。問129とか、問120とか考えた。
- 解くのに時間のかかるもの(経穴を位置で示すものなど)は五肢になったら時間も労力もかかる。
- 集中力を維持することが大変だった。特に、経穴を、経穴名でなく部位で表記する様になった点が5択又は問題数増加で大変になってくると思った。
- 問題と解答の日本語がおかしい。